

NPOと企業・大学の 協力に関する調査 実施結果 (NPO/企業/大学の回答比較)

群馬県 生活こども部 県民活動支援・広聴課
令和7年3月

- I. アンケート調査の実施概要・・・3
- II. 回答したNPO/企業/大学の属性・・・5
- III. NPO/企業/大学の回答の比較・・・17
 - 1. CSR・社会貢献活動・地域連携の実施
 - 2. 個人で行う社会貢献活動への支援
 - 3. 個人で行う社会貢献活動への支援の方法
 - 4. NPOの活動分野や活動内容等に対する認識
 - 5. NPOに対するイメージ
 - 6. NPOの情報をどこから入手しているか
 - 7. NPOに期待すること
 - 8. 過去3年間の協力の状況
 - 9. 企業からNPOへの協力の内容
 - 10. 大学からNPOへの協力の内容
 - 11. 協力した理由
 - 12. 協力したきっかけ
 - 13. コーディネートを行った人
 - 14. コーディネーターが関わった場面
 - 15. 協力に対する評価
 - 16. 協力したことがない理由
 - 17. NPOに求められていると思うこと・求めること
 - 18. NPOと協力しやすくするために必要なNPOの情報
 - 19. コーディネート担う組織に求める役割
 - 20. 今後、条件が整えば、協力したいか
 - 21. 協力したい活動分野
 - 22. NPOに期待する役割・NPOから提供できる資源
 - 23. 企業に期待する役割・企業から提供できる資源
 - 24. 大学に期待する役割・大学から提供できる資源
 - 25. 関連するSDGsのゴール
 - 26. SDGsを活用しているか
- IV. クロス分析・・・45
 - 1. 従業員数・学生数×社会貢献活動の実施
 - 2. 従業員数・学生数×個人で行う社会貢献活動の支援
 - 3. 有給職員数・従業員数・学生数×過去3年の協力有無
 - 4. NPO会員数×過去3年の協力有無
 - 5. NPO昨年度の収入×過去3年の協力有無
 - 6. 有給職員数・従業員数・学生数×今後の協力希望有無
 - 7. NPO会員数×今後の協力希望の有無
 - 8. NPO昨年度の収入×今後の協力希望の有無
 - 9. 社会貢献活動の実施×過去3年の協力有無
 - 10. 社会貢献活動の実施×今後の協力希望有無
 - 11. 過去3年の協力有無×NPOへの認識
 - 12. NPOへの認識×今後の協力希望有無
 - 13. 過去3年の協力有無×今後の協力希望有無
 - 14. 有給職員数・従業員数・学生数×SDGsの活用
 - 15. 過去3年の協力有無×SDGsの活用の有無
 - 16. 今後の協力希望有無×SDGsの活用の有無

I アンケート調査の実施概要

目的	群馬県内のNPOと企業・大学との協力の現状と課題を把握し、協働による地域づくりの推進に係る施策を検討する
調査対象	[NPO] 群馬県内で活動するNPO (法人格の有無は問わない) [企業] 群馬県内の企業 [大学] 群馬県内の大学・短期大学
調査方法	■ 依頼方法 [NPO] 群馬県内のNPO法人に依頼文を郵送 (791法人)。その他、HP等で周知。 [企業] SDGsぐんまビジネスプラクティス選定企業にメール送付 (193社)。その他、HP等で周知。 [大学] ぐんま地域・大学連携協議会構成大学にメール送付 (17大学。短大含む。) ■ 回答方法 「ぐんま電子申請受付システム (LoGoフォーム)」を利用
有効回答数	[NPO] 92 [企業] 42 [大学] 11 (回収率64.7%)
調査期間	2024年10月9日から11月8日まで
調査項目	[NPO] 最大20問 過去3年間に企業・大学と協力した取り組みの有無とその内容、企業・大学と協力する上でNPOが提供できること、企業・大学に期待する役割等。 [企業・大学] 最大27問 CSR・社会貢献活動・地域連携の実施の有無、NPOに対する認識、過去3年間にNPOと協力した取り組みの有無とその内容、NPOと協力する上でNPOに求めること等。
集計表の見方	<ul style="list-style-type: none">● 本文に使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。● 百分率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示した。そのため、単数回答 (1つだけ選ぶ設問) の百分率 (%) の合計が、100%にならない場合がある。● 複数回答 (2つ以上選ぶことができる設問) は、百分率 (%) の合計が100.0%を超える場合がある。

この調査に出てくる言葉について

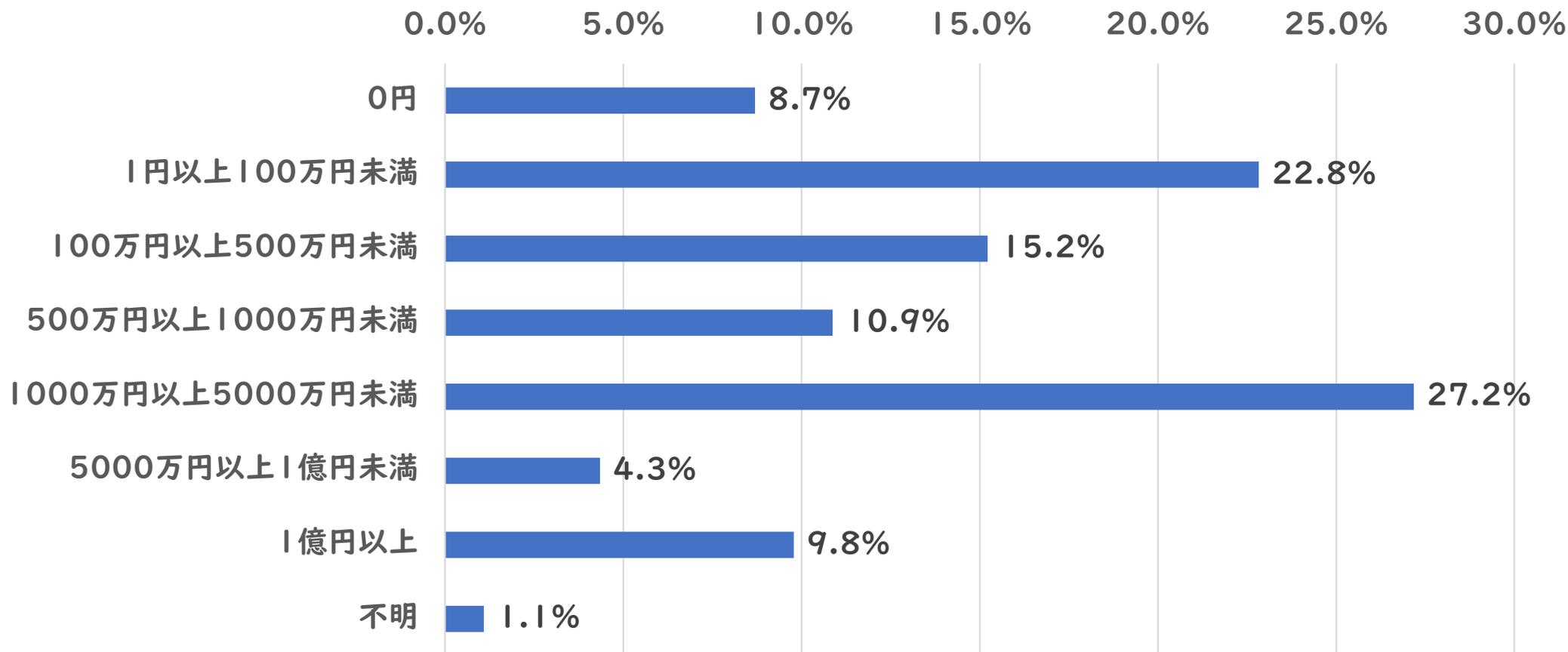
NPO	社会や地域のために自主的な活動をしている民間の団体。特定非営利活動法人（NPO法人）のほか、法人格を持たないボランティア団体・市民活動団体、公益社団・公益財団法人、非営利型の一般社団・一般財団法人も含まれます。
協力	複数の主体が力を合わせて事に当たること。事業の共同実施、業務委託、物品や資金の寄附・協賛、イベント出展、講師の派遣・依頼、広報協力など、幅広い内容を指します。公共的な課題を解決することを共通の目的として、相互理解のもと、対等な立場で役割分担しながら共に活動する「協働」も、この中に含まれます。
コーディネート	人や団体の間に立って、連絡調整や情報提供、助言をすること。協力相手や参考事例を紹介する、打ち合わせに同席するなど、協力が上手くいくように関わること。

Ⅱ 回答したNPO/企業/大学の の属性

NPO

Q1①. 昨年度の「収入」の合計額(1つ選択)

【n=92】

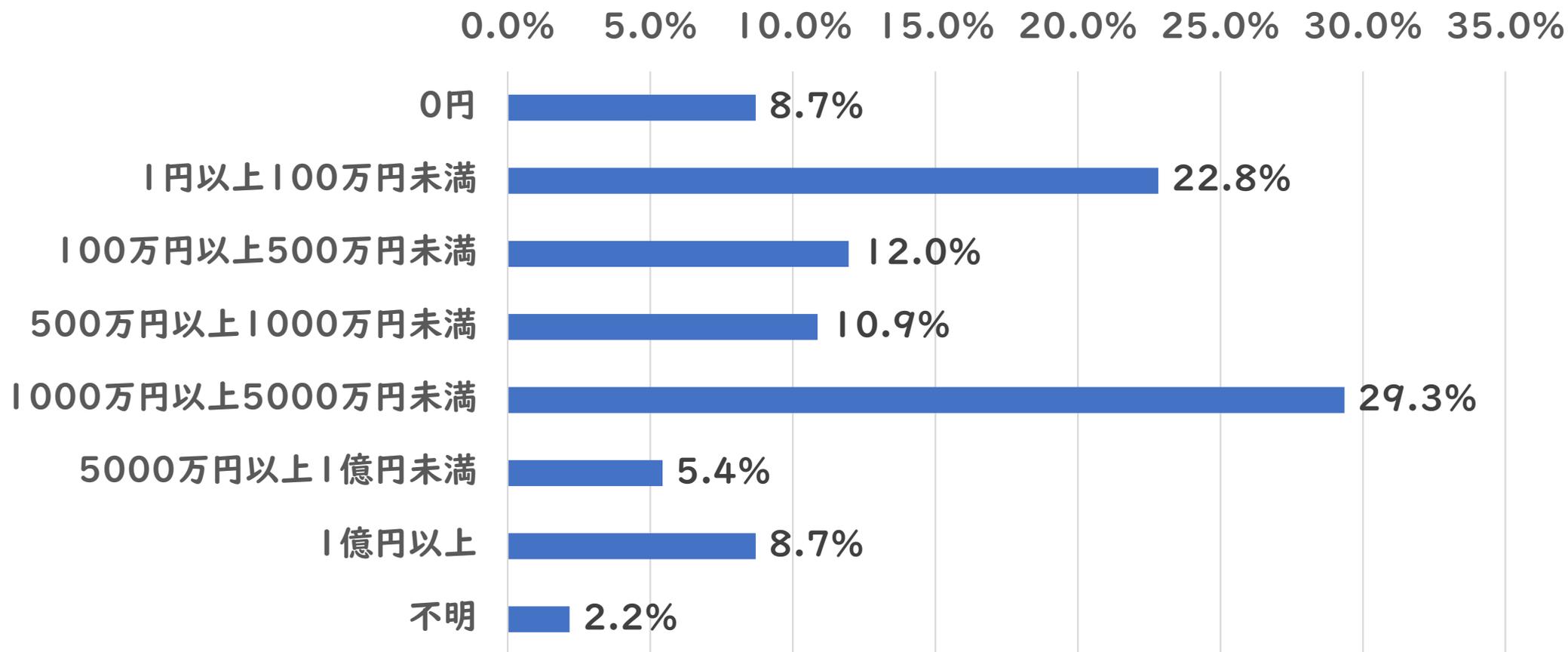


回答したNPOの中では、収入は「1,000万以上5,000未満」が最も多く、次いで「1円以上100万円未満」である。

NPO

Q1②.昨年度の「支出」の合計額(1つ選択)

【n=92】

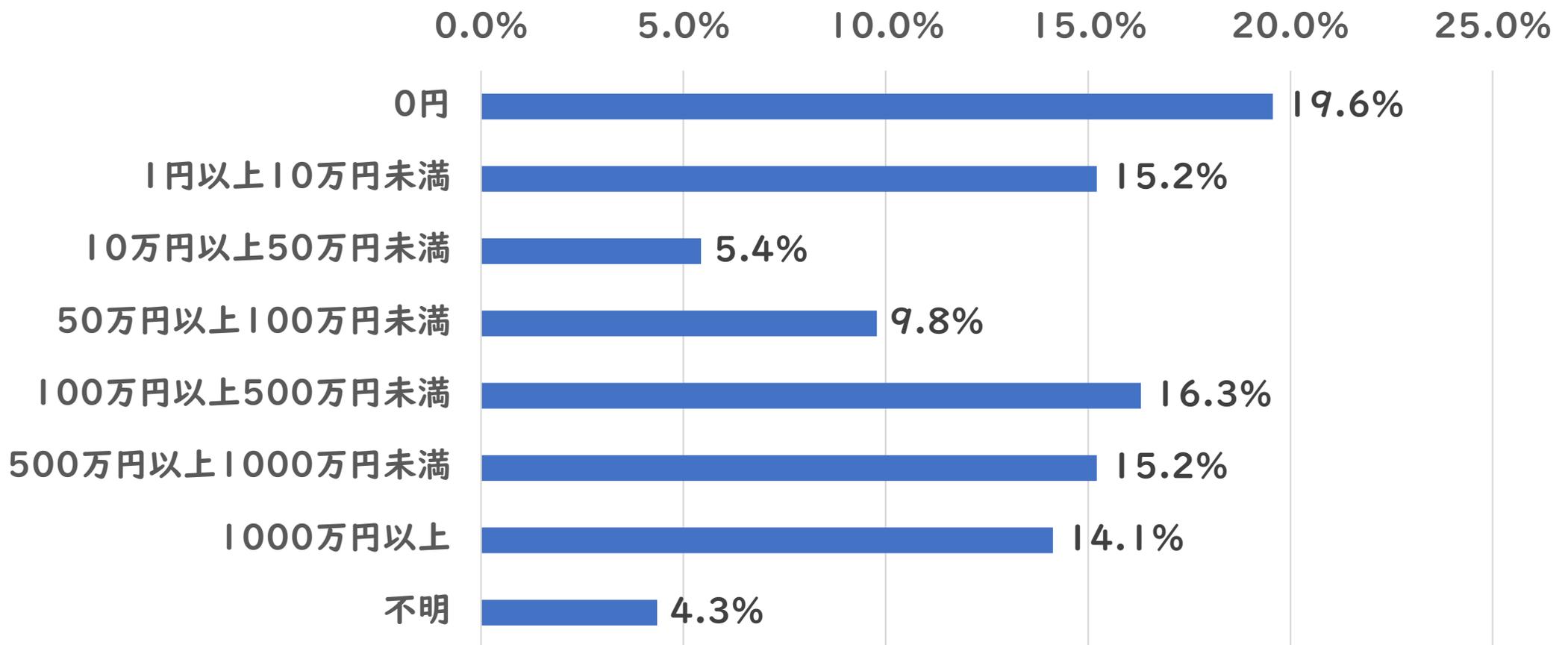


回答したNPOの中では、支出は「1,000万以上5,000未満」のNPOが最も多く、次いで「1円以上100万円未満」である。

NPO

Q1③.昨年度の正味財産額(1つ選択)

【n=92】

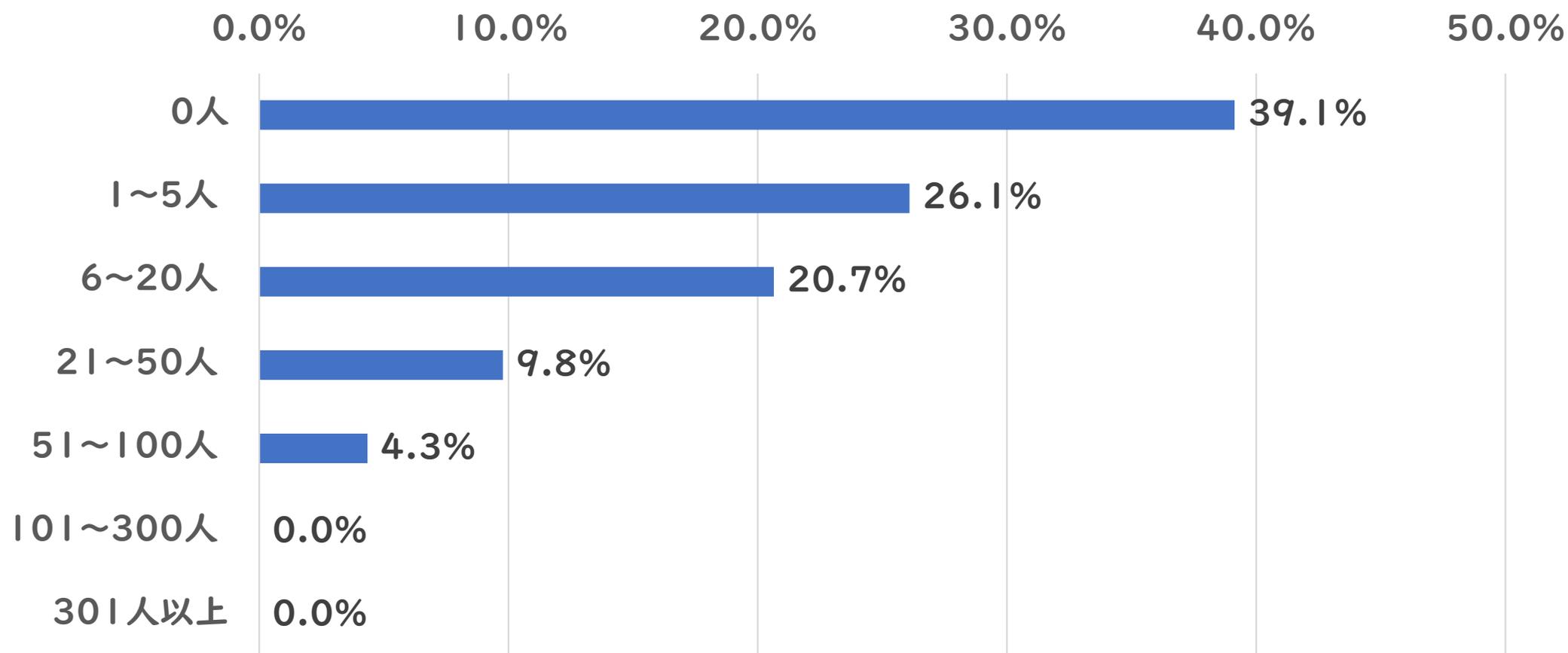


回答したNPOの中では、正味財産額は「0円」が最も多い。

NPO

Q1④.有給職員数（1つ選択）

【n=92】

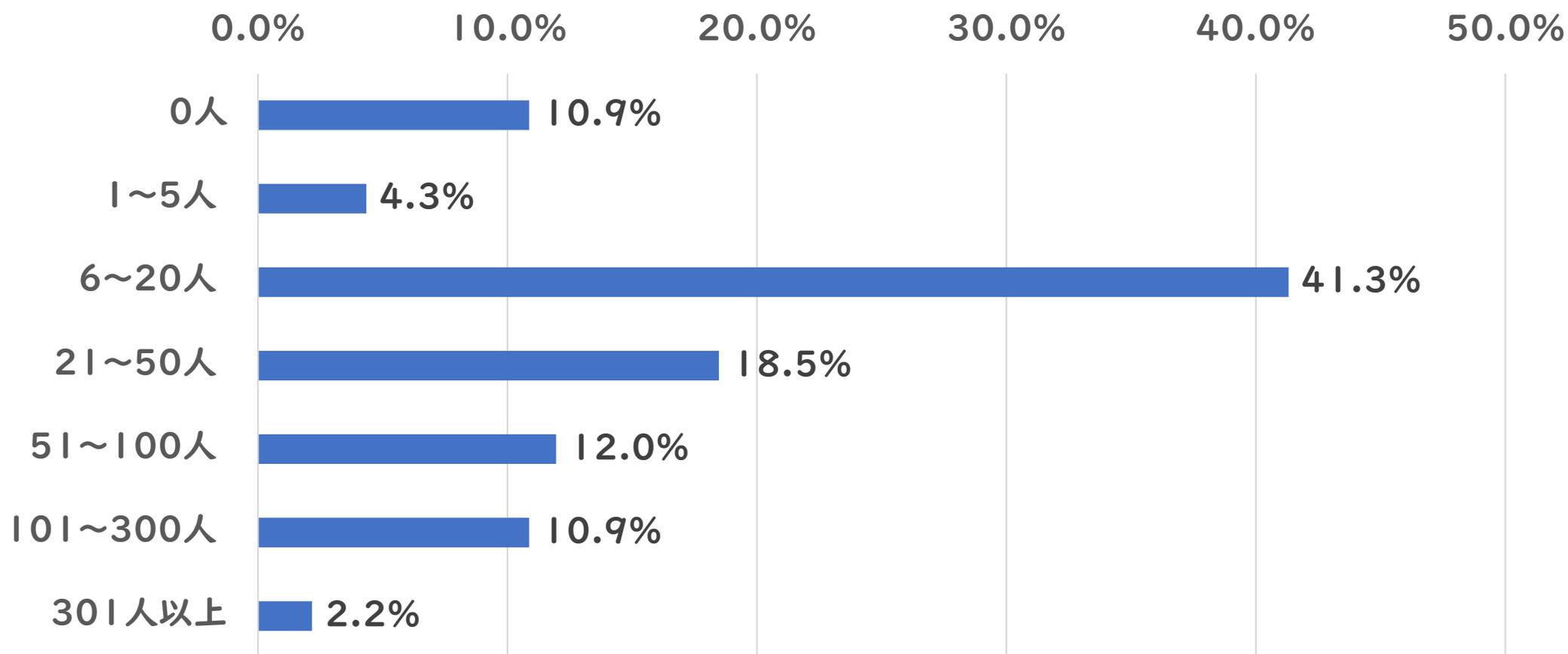


回答したNPOの中では、有給職員数は「0人」が最も多く、次いで「1~5人」である。

NPO

Q1⑤.会員数(正会員その他、活動会員や賛助会員等も含む)(1つ選択)

【n=92】

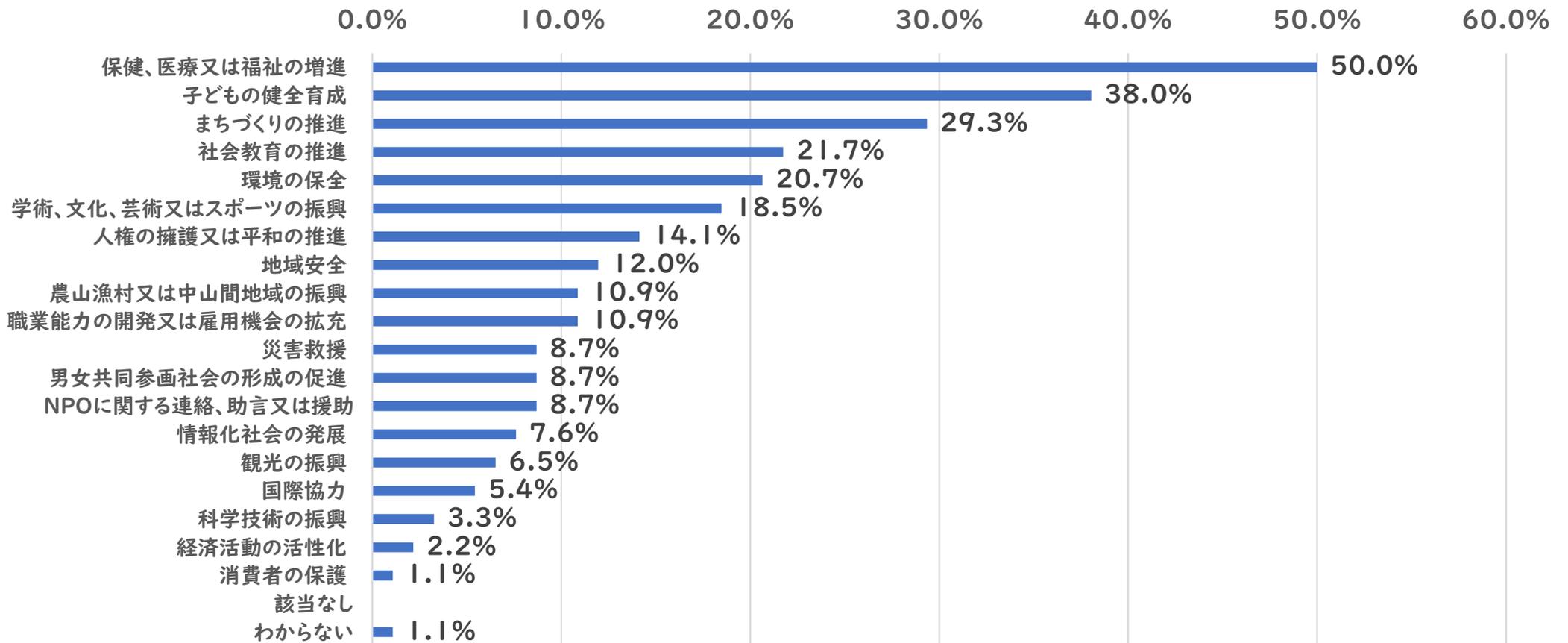


回答したNPOの中では、会員数は、「6~20人」が最も多く、次いで「21人~50人」である。

NPO

Q1⑥.活動分野（複数選択可）

【n=92】



回答したNPOの中では、活動分野は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」が最も多く、「子どもの健全育成を図る活動」「まちづくりの推進を図る活動」と続く。

【参考】

本県における活動分野別NPO法人の状況 (令和6年11月末日現在:812法人)

活動分野別NPO法人数



注:解散及び他への移管法人を除く。

法改正により内閣府から移管された20法人を含む

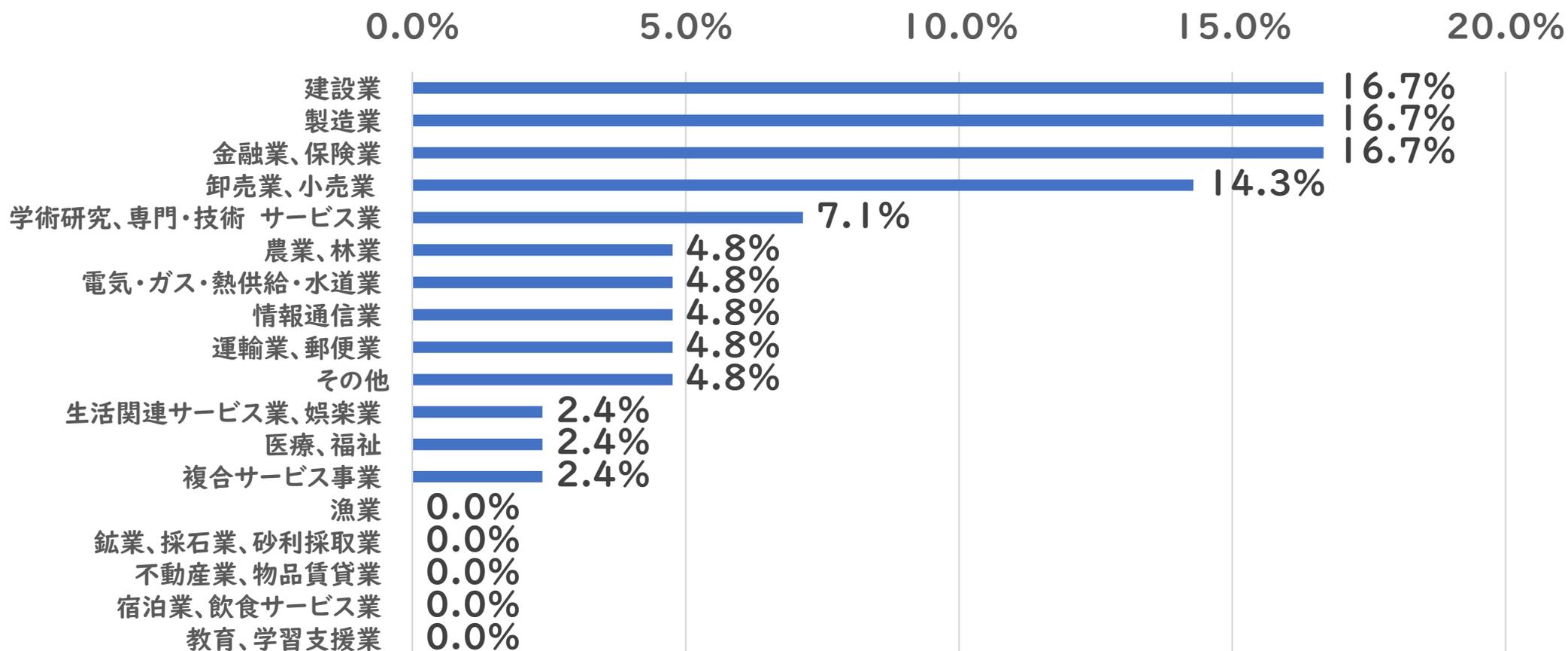
注:活動分野は県が主たる分野を判断したもの

	活動分野	法人数	構成比
①	保健、医療又は福祉の増進	339	41.7%
⑬	子どもの健全育成	103	12.7%
⑥	学術・文化・芸術・スポーツの振興	95	11.7%
③	まちづくりの推進	86	10.6%
⑦	環境の保全	49	6.0%
②	社会教育の推進	35	4.3%
⑪	国際協力	19	2.3%
⑤	農山漁村又は中山間地域の振興	14	1.7%
⑨	地域安全活動	11	1.4%
⑩	人権の擁護・平和の推進	11	1.4%
⑰	職業能力の開発・雇用機会の拡充支援	11	1.4%
⑭	情報化社会の発展	8	1.0%
④	観光の振興	7	0.9%
⑯	経済活動の活性化	7	0.9%
⑫	男女共同参画社会の形成促進	6	0.7%
⑱	NPOの運営・活動の連絡・助言・援助	4	0.5%
⑮	科学技術の振興	3	0.4%
⑱	消費者の保護	3	0.4%
⑧	災害救援活動	1	0.1%

企業

Q1①.業種(複数選択可)

【n=42】

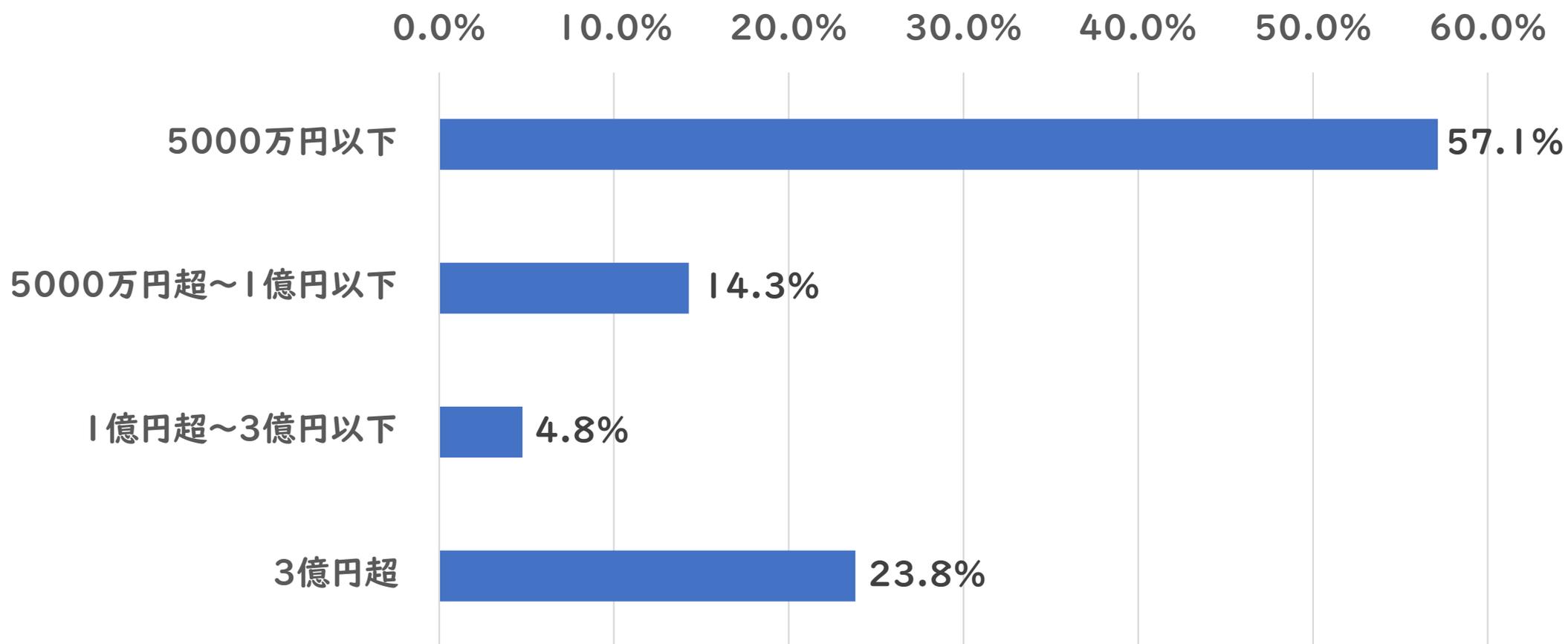


回答した企業の中では、業種は「建設業」「製造業」「金融業、保険業」が最も多く、次いで「卸売業、小売業」である。

企業

Q1②.資本金または出資金(1つ選択)

【n=42】

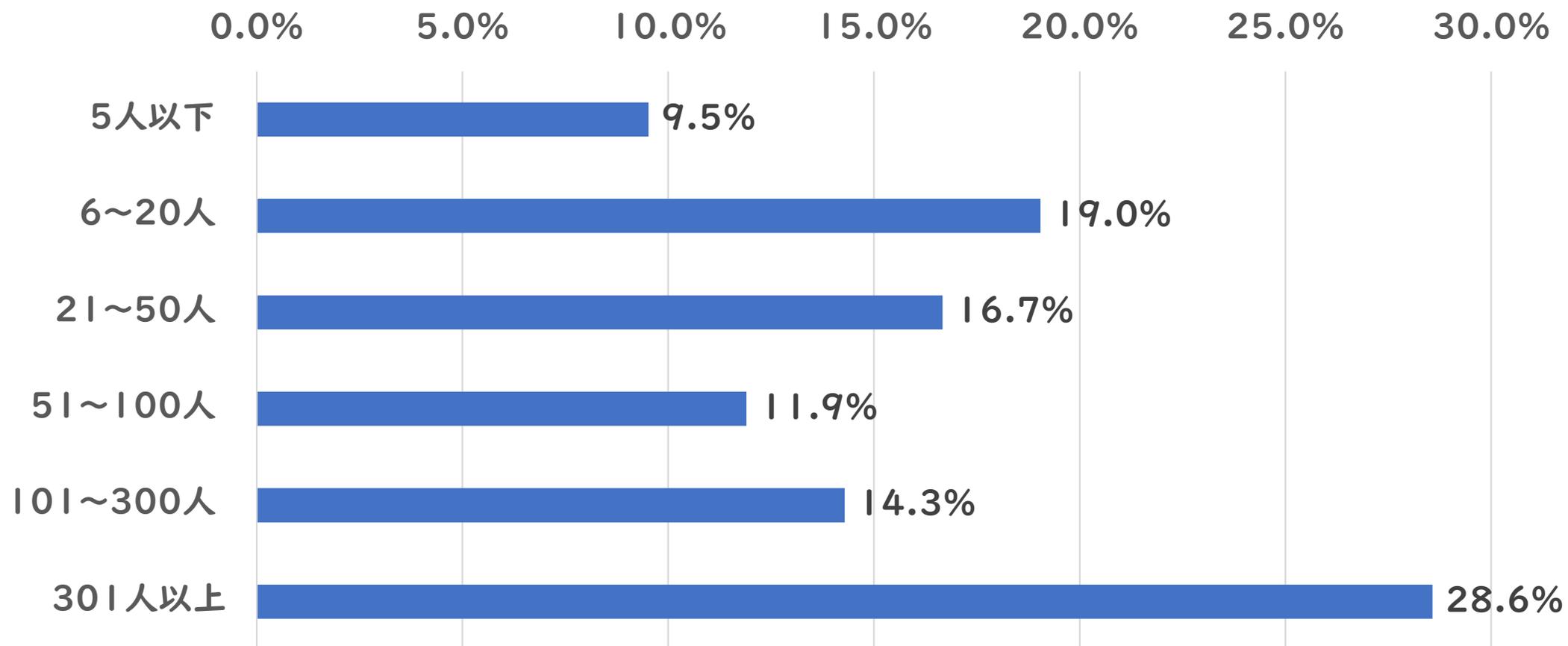


回答した企業の中では、資本金又は出資金は、「5,000万円以下」が最も多い。

企業

Q1③.従業員数(1つ選択)

【n=42】

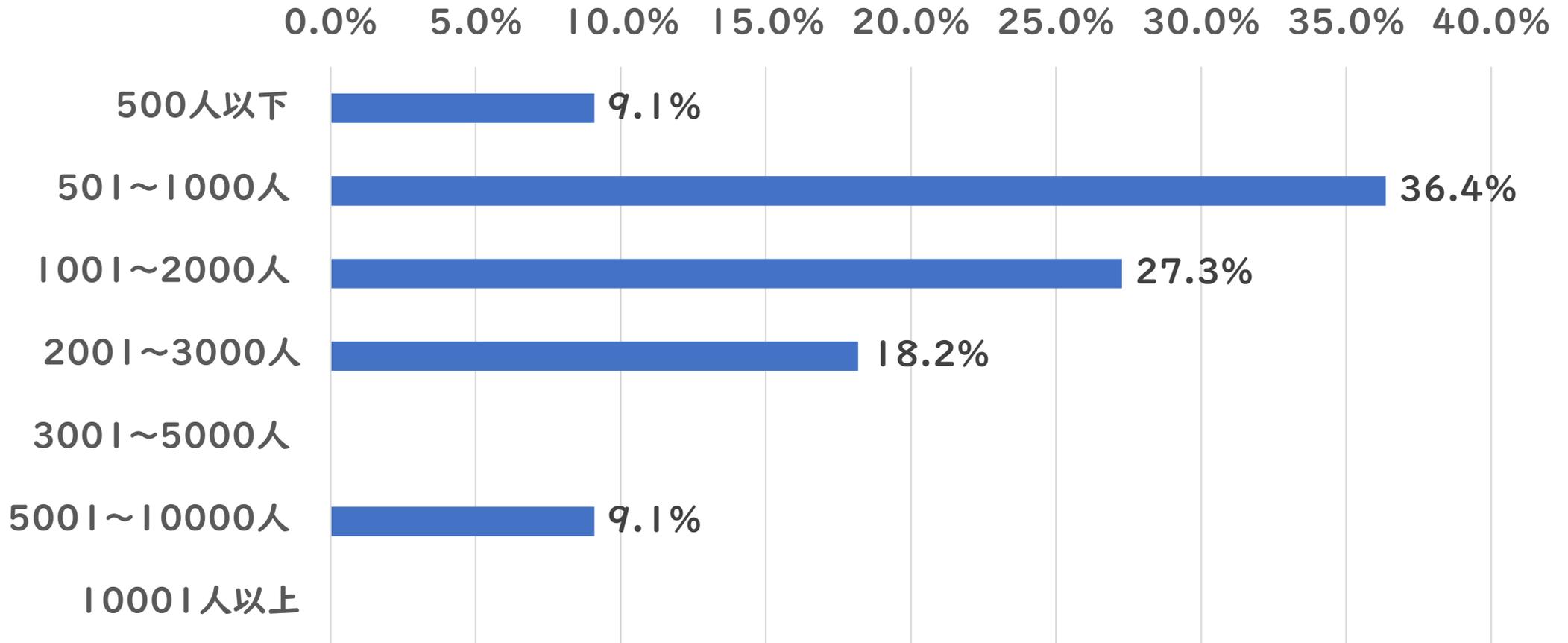


回答した企業の中では、従業員数は「301人以上」が最も多い。

大学

Q1. 学生数

【n=11】



回答した大学の中では、学生数は「501人から1000人」が最も多い。

Ⅲ NPO/企業/大学の 回答の比較

- 分析コメント

- 企業の回答

- NPOの回答

- 大学の回答

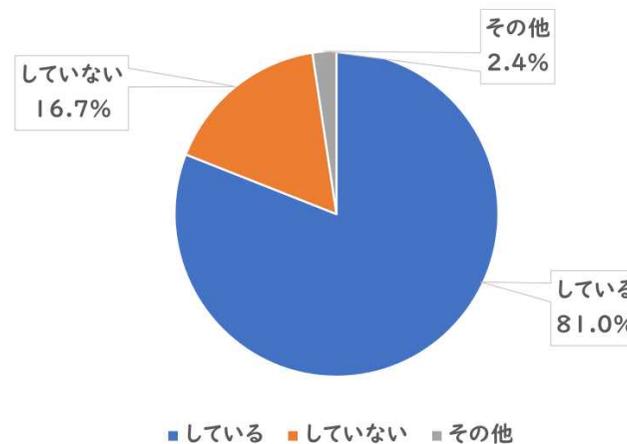
I CSR・社会貢献活動・地域連携の実施

- 企業は、「実施している」が81.0%。CSR・社会貢献活動・地域連携を実施している企業からの回答が多い。
- 大学は、「実施している」が100%。回答した全ての大学が実施している。

企業

Q2.CSR・社会貢献活動を実施していますか。(1つ選択)

【n=42】

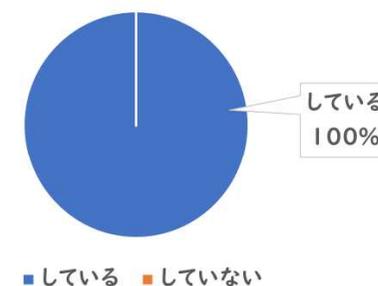


CSR・社会貢献活動を「実施している」との回答が81.1%で多い。CSR・社会貢献活動・地域連携を実施している企業からの回答が多い。

大学

Q2.社会貢献活動・地域連携を実施していますか。(1つ選択)

【n=11】



社会貢献活動・地域連携を「実施している」との回答が100%である。

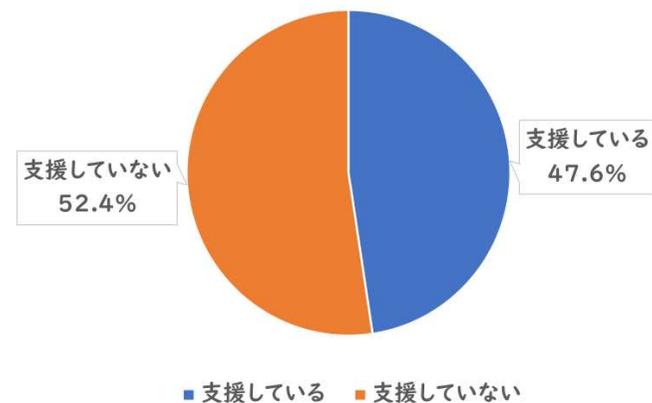
2 個人で行う社会貢献活動への支援

- 企業は、「支援している」が47.6%。「支援している」と「していない」がほぼ半々である。
- 大学は、「支援している」が81.8%。「支援している」が多い。

企業

Q3.従業員が個人で行う社会貢献活動を支援していますか。(1つ選択)

【n=42】

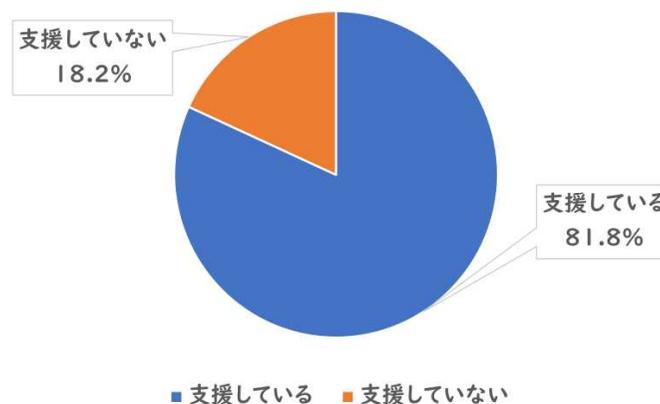


従業員が個人で行う社会貢献活動を「支援している」との回答は47.6%。「支援している」と「していない」がほぼ半々である。

大学

Q3.職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか。(1つ選択)

【n=11】



職員・学生が個人で行う社会貢献活動を「支援している」との回答が81.8%が多い。

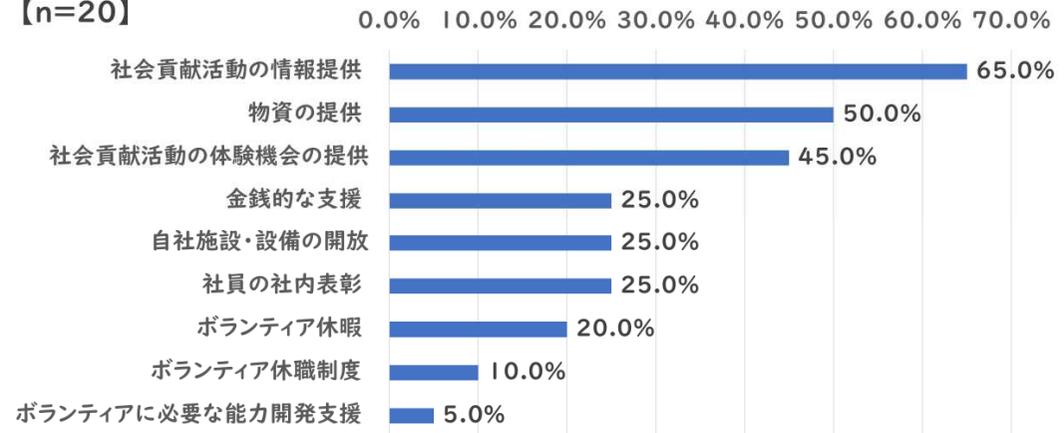
3 個人で行う社会貢献活動への支援の方法

- 企業は、「社会貢献活動の情報提供」が65.0%と最も多く、次いで「物資の提供」が50.0%、「社会貢献活動の体験機会の提供」が45.0%である。
 - 大学は、「大学施設・設備の開放」が66.7%で最も多く、次いで「社会貢献活動の情報提供」が55.6%、「社会貢献活動の体験機会の提供」が44.4%である。
- 企業・大学ともに、「社会貢献活動の情報提供」「社会貢献活動の体験機会の提供」が多い。

企業

Q4.従業員が個人で行う社会貢献活動への支援は、どのような方法で行っていますか。(複数選択可)

【n=20】

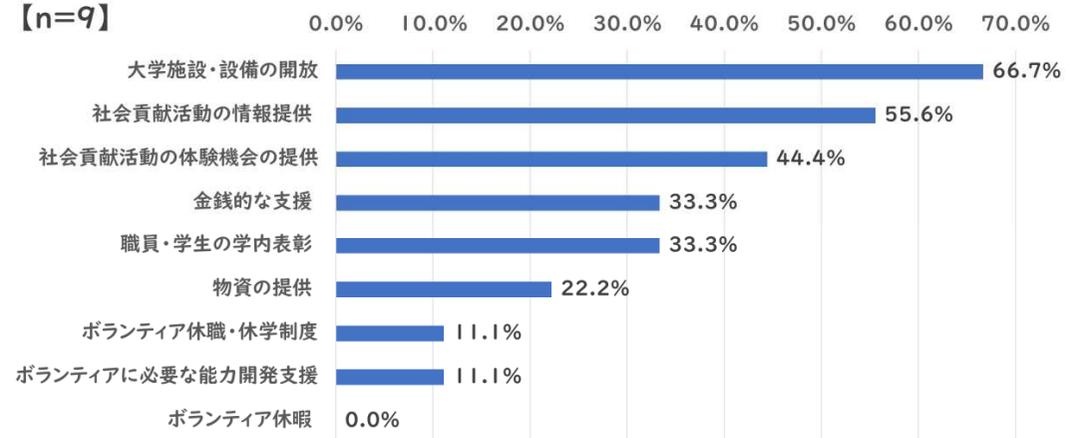


支援の方法は、「社会貢献活動の情報提供」が65.0%と最も多く、次いで「物資の提供」が50.0%、「社会貢献活動の体験機会の提供」が45.0%である。

大学

Q4.職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援は、どのような方法で行っていますか。(複数選択可)

【n=9】



職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援の方法は、「大学施設・設備の開放」が66.7%で最も多く、次いで「社会貢献活動の情報提供」が55.6%、「社会貢献活動の体験機会の提供」が44.4%である。

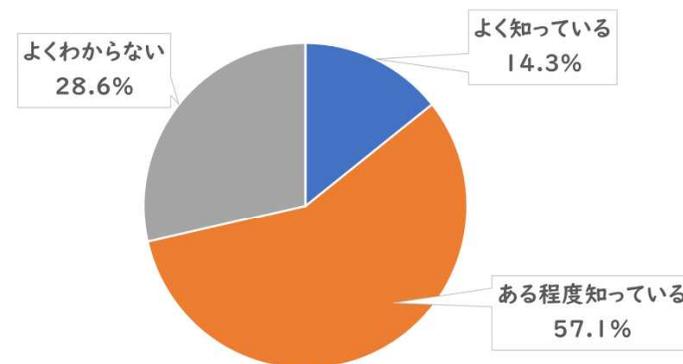
4 NPOの活動分野や活動内容等に対する認識

- 企業は、「ある程度知っている」が57.1%で最も多く、「よく知っている」の14.3%と合わせて「知っている」が71.4%である。
- 大学は、「ある程度知っている」が45.5%で最も多く、「よく知っている」の18.2%と合わせて「知っている」が63.7%である。
- 今回の調査では、NPOについて「知っている」企業・大学からの回答が多い。

企業

Q5.NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識されていますか。(1つ選択)

【n=42】



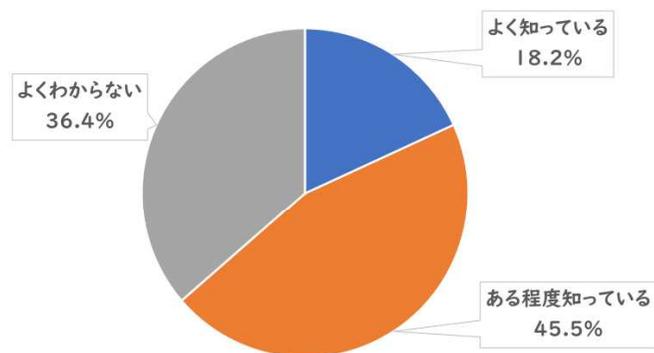
■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ よくわからない ■ まったくわからない

NPOの活動分野や活動内容等についての認識は、「ある程度知っている」が57.1%で最も多く、「よく知っている」の14.3%と合わせて「知っている」が71.4%である。

大学

Q5.NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識されていますか。(1つ選択)

【n=11】



■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ よくわからない ■ まったくわからない

NPOの活動分野や活動内容等についての認識は、「ある程度知っている」が45.5%で最も多く、「よく知っている」の18.2%と合わせて「知っている」が63.7%である。

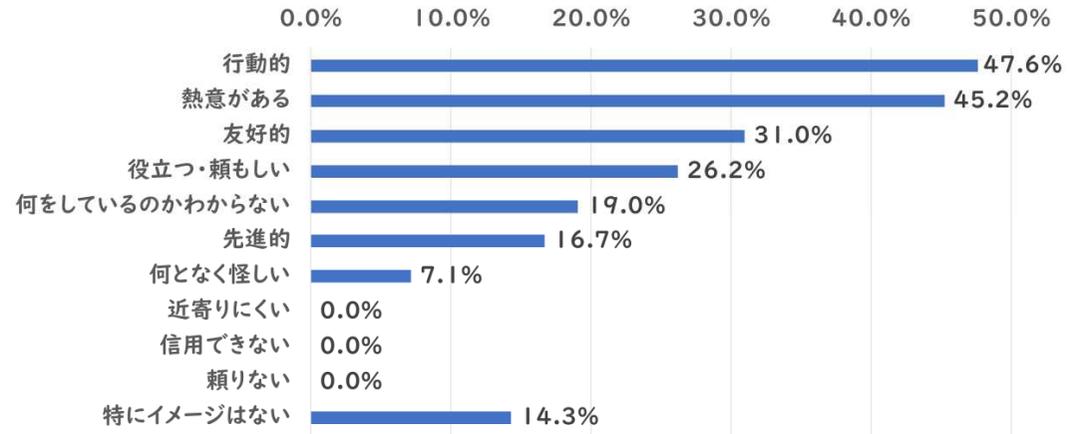
5 NPOに対するイメージ

- 企業は、「行動的」が47.6%で最も多く、次いで「熱意がある」が45.2%である。一方で、「何をしているのかわからない」が19.1%、「何となく怪しい」が7.1%である。
 - 大学は、「熱意がある」が72.7%で最も多く、次いで「行動的」が45.5%である。一方で「何をしているのかわからない」が18.2%ある。
- 企業・大学ともに「行動的」「熱意がある」「友好的」といった良いイメージの回答が多い一方で、「何をしているのかわからない」「特にイメージはない」との回答も一定数ある。

企業

Q6.NPOに対するイメージをお答えください。(複数選択可)

【n=42】

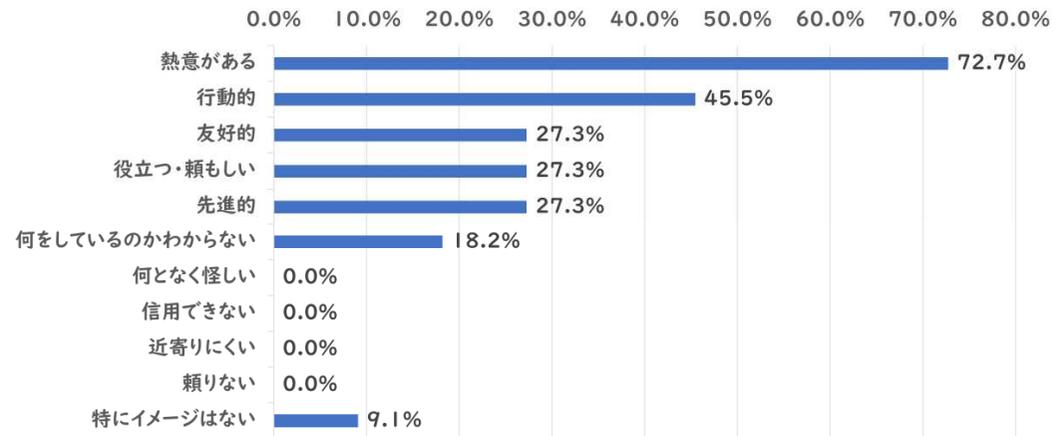


NPOに対するイメージは、「行動的」が47.6%で最も多く、次いで「熱意がある」が45.2%である。一方で、「何をしているのかわからない」が19.1%、「何となく怪しい」が7.1%である。

大学

Q6.NPOに対するイメージをお答えください。(複数選択可)

【n=11】



NPOに対するイメージは、「熱意がある」が72.7%で最も多く、次いで「行動的」が45.5%である。一方で「何をしているのかわからない」が18.2%ある。

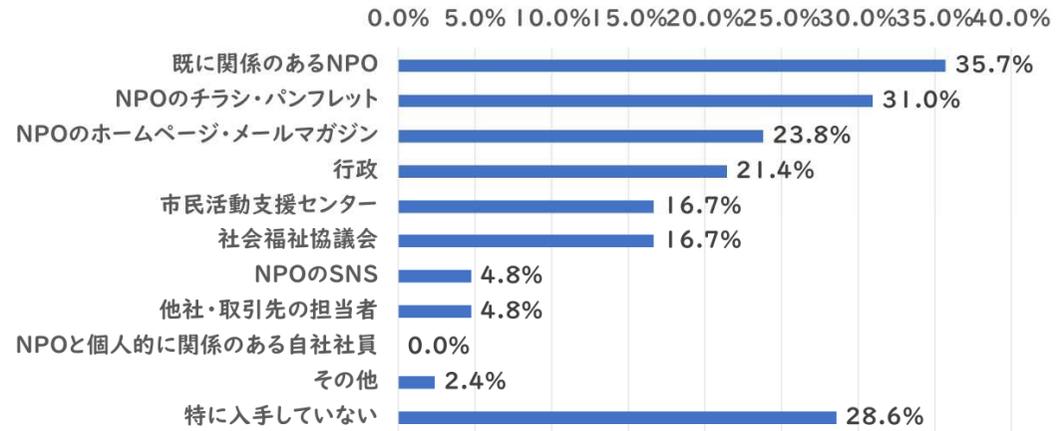
6 NPOの情報をどこから入手しているか

- 企業は、「既に関係のあるNPO」が35.7%と最も多く、次いで「NPOのチラシ・パンフレット」が31.0%である。一方で「特に入手していない」が28.6%ある。
- 大学は、「NPOと個人的に関係のある大学職員」が63.6%と最も多く、次いで「NPOのホームページ・メールマガジン」「既に関係のあるNPO」が36.4%である。一方で「特に入手していない」が18.2%ある。
- 企業・大学ともに既に関係のある者から情報を入手している割合が高いが、「NPOのホームページ・メールマガジン」「NPOのチラシ・パンフレット」から入手している割合も高い。
- 中間支援の役割を果たす行政、市民活動支援センター、社会福祉協議会からも一定数が情報を得ている。

企業

Q7.NPOに関する情報をどこから入手していますか。(複数選択可)

【n=42】

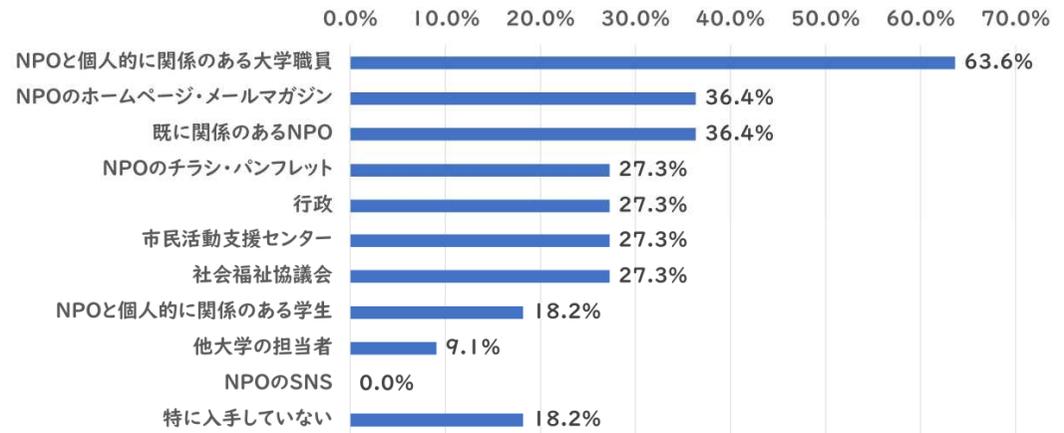


NPOに関する情報の入手は、「既に関係のあるNPO」が35.7%と最も多く、次いで「NPOのチラシ・パンフレット」が31.0%である。一方で「特に入手していない」が28.6%ある。

大学

Q7.NPOに関する情報をどこから入手していますか。(複数選択可)

【n=11】



NPOに関する情報の入手は、「NPOと個人的に関係のある大学職員」が63.6%と最も多く、次いで「NPOのホームページ・メールマガジン」「既に関係のあるNPO」が36.4%である。一方で「特に入手していない」が18.2%ある。

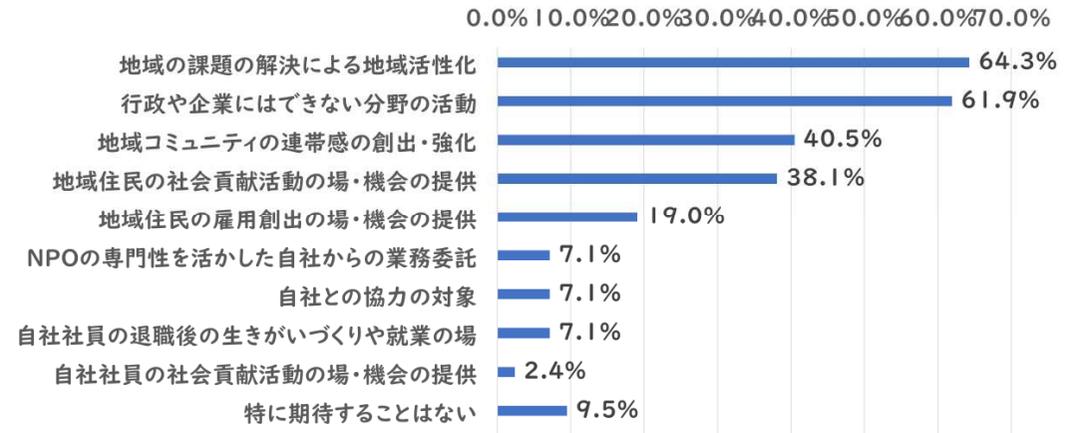
7 NPOに期待すること

- 企業は、「地域の課題の解決による地域活性化」が64.3%で最も多く、次いで「行政や企業にはできない分野の活動」が61.9%、「地域コミュニティの連帯感の創出・強化」が40.5%、「地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供」が38.1%である。
- 大学は、「地域の課題の解決による地域活性化」「行政や企業にはできない分野の活動」が72.7%で最も多く、次いで「地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供」が54.5%である。
- 企業・大学ともに「地域の課題の解決による地域活性化」「行政や企業にはできない分野の活動」の割合が高い。

企業

Q8.NPO (NPOの活動) に期待することは何ですか。(複数選択可)

【n=42】

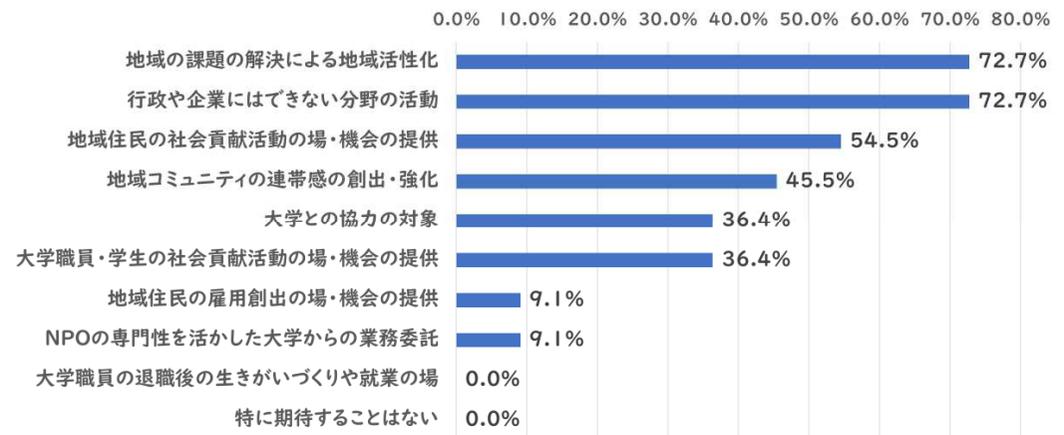


NPO (NPOの活動) に期待することは、「地域の課題の解決による地域活性化」が64.3%で最も多く、次いで「行政や企業にはできない分野の活動」が61.9%、「地域コミュニティの連帯感の創出・強化」が40.5%、「地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供」が38.1%である。

大学

Q8.NPO (NPOの活動) に期待することは何ですか。(複数選択可)

【n=11】



NPO (NPOの活動) に期待することは、「地域の課題の解決による地域活性化」「行政や企業にはできない分野の活動」が72.7%で最も多く、次いで「地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供」が54.5%である。

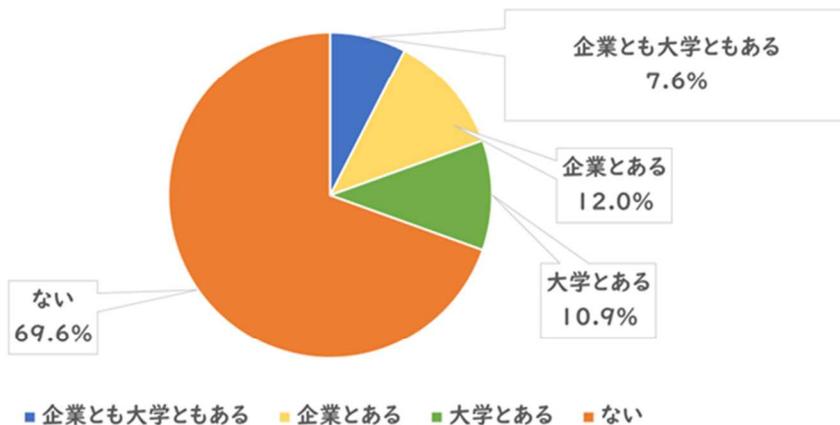
8 過去3年間の協力の状況

- NPOは、「ない」との回答が69.6%で多く、「ある」との回答は、全て合わせて30.4%である。
- 企業は、「ない」との回答が59.5%が多い。
- 大学は、「ある」との回答が72.7%が多い。
- 今回の回答では、3者とも一定数の協力の実績がある。

NPO

Q2.過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはありますか。(1つ選択)
大学には、短期大学、学生団体を含みます。

【n=92】

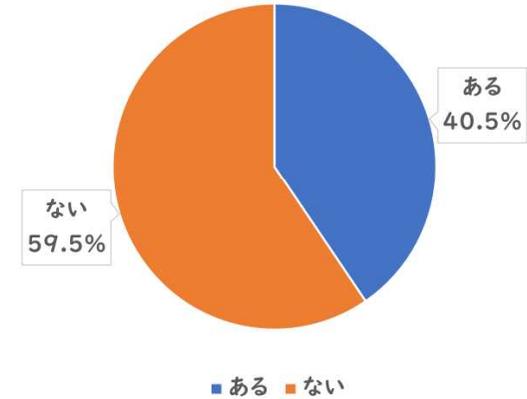


企業・大学との協力は、「ない」との回答が69.6%で多く、「ある」との回答は、全て合わせて30.4%である。

企業

Q9.過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはありますか。(1つ選択)

【n=42】

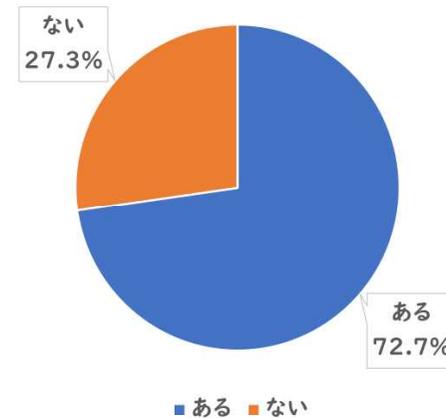


群馬県内のNPOと協力は、「ない」との回答が59.5%である。

大学

Q9.過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはありますか。(1つ選択)

【n=11】



群馬県内のNPOと協力が「ある」との回答が72.7%が多い。

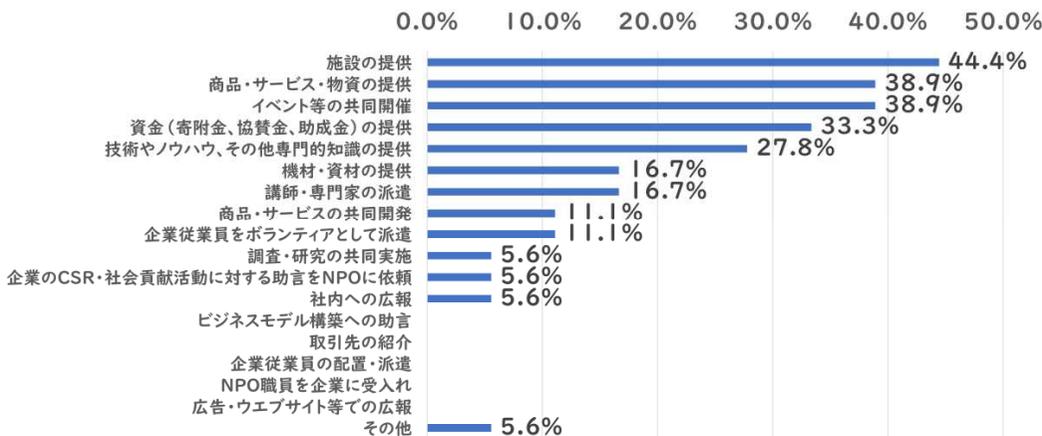
9 企業からNPOへの協力の内容

- NPOからの回答では、「施設の提供」が44.4%で最も多く、次いで「商品・サービス・物資の提供」「イベント等の共同開催」が38.9%である。資金の提供は33.3%、技術・ノウハウ等の提供は27.8%である。
- 企業からの回答では、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が58.8%で最も多く、次いで「機材・資材の提供」「自社商品・サービス・物資の提供」「イベント等の共同開催」が23.5%である。
- 企業からの回答では、「資金の提供」の割合が高い。NPO・企業ともに「イベント等の共同開催」の割合も高い。

NPO

Q3.企業からの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

【n=18】

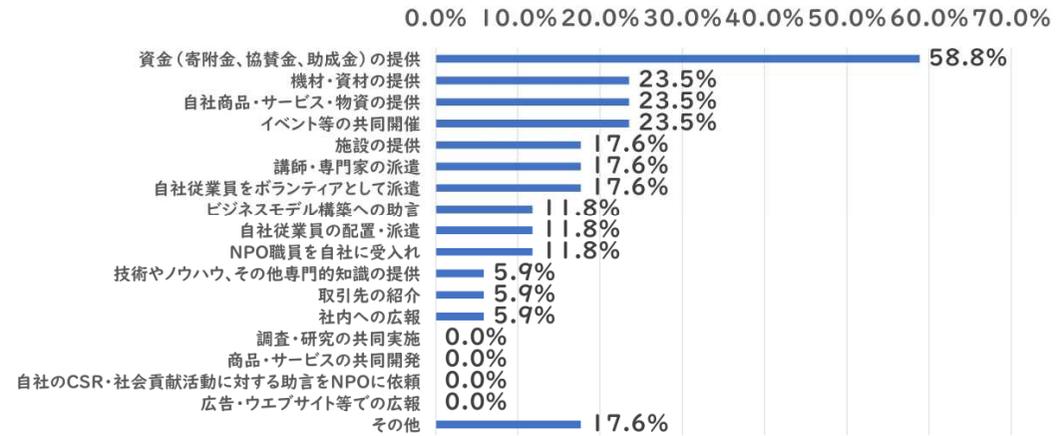


企業からの協力の内容は、「施設の提供」が44.4%で最も多く、次いで「商品・サービス・物資の提供」「イベント等の共同開催」が38.9%である。資金の提供は33.3%、技術・ノウハウ等の提供は27.8%である。

企業

Q10.NPOへの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

【n=17】



NPOへの協力の内容は、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が58.8%で最も多く、次いで「機材・資材の提供」「自社商品・サービス・物資の提供」「イベント等の共同開催」が23.5%である。

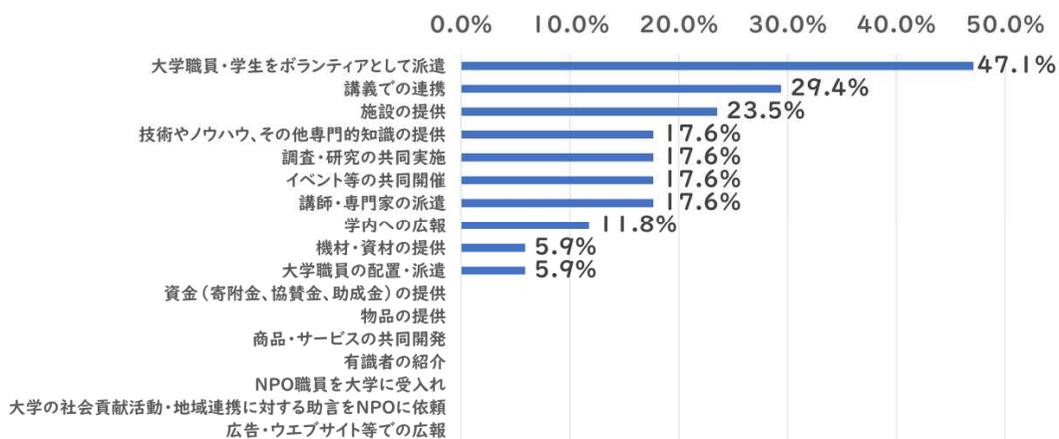
10 大学からNPOへの協力の内容

- NPOからの回答では、「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が47.1%で最も多く、次いで「講義での連携」が29.4%、「施設の提供」が23.5%である。
- 大学からの回答では、「イベント等の共同開催」が62.5%で最も多く、次いで「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が50.0%、「講義での連携」が37.5%である。
- NPO・大学ともに「大学職員・学生をボランティアとして派遣」の割合が高い。

NPO

Q4.大学からの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

【n=17】

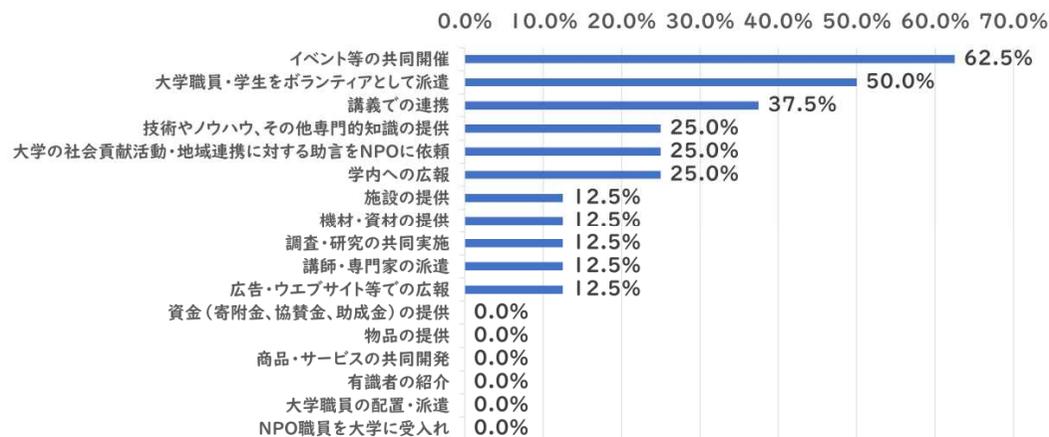


大学からの協力の内容は、「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が47.1%で最も多く、次いで「講義での連携」が29.4%、「施設の提供」が23.5%である。

大学

Q10.NPOへの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

【n=8】



NPOへの協力の内容は、「イベント等の共同開催」が62.5%で最も多く、次いで「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が50.0%、「講義での連携」が37.5%である。

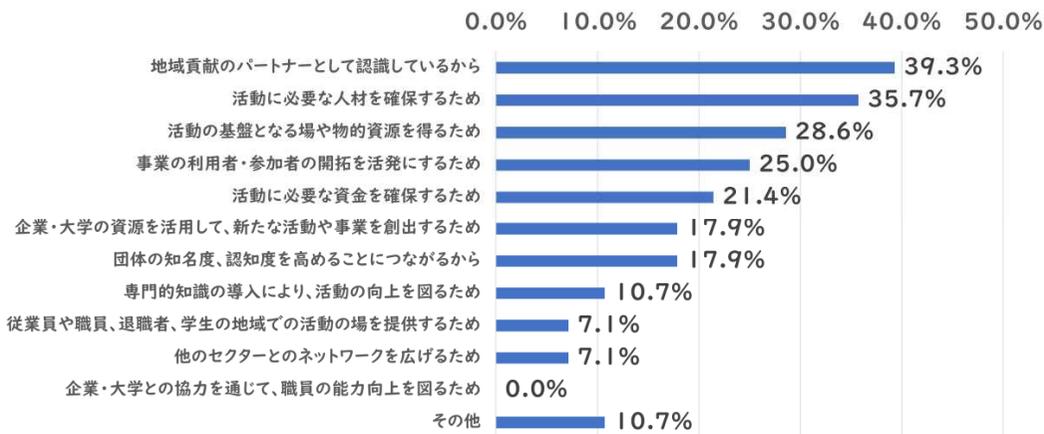
II 協力した理由

- NPOは、「地域貢献のパートナーとして認識しているから」が39.3%で最も多く、次いで「活動に必要な人材を確保するため」が35.7%、「活動の基盤となる場や物的資源を得るため」が28.6%である。
- 企業は、「地元地域の活性化・発展のため」「企業の社会的責任として」が82.4%で最も多く、次いで「企業のイメージ向上のため」が29.4%である。
- 大学は、「地元地域の活性化・発展のため」が75.0%で最も多く、次いで「大学の社会的責任として」「学生の満足度の向上として」が37.5%である。
- NPOは「パートナーとしての認識」「人材の確保」「場や物的資源を得る」が多く、企業・大学は、「地域の活性化・発展のため」「社会的責任として」がともに多く、大学は「学生の満足度の向上」も多い。

NPO

Q5.企業・大学と協力した理由は何ですか。(複数選択可)

【n=28】

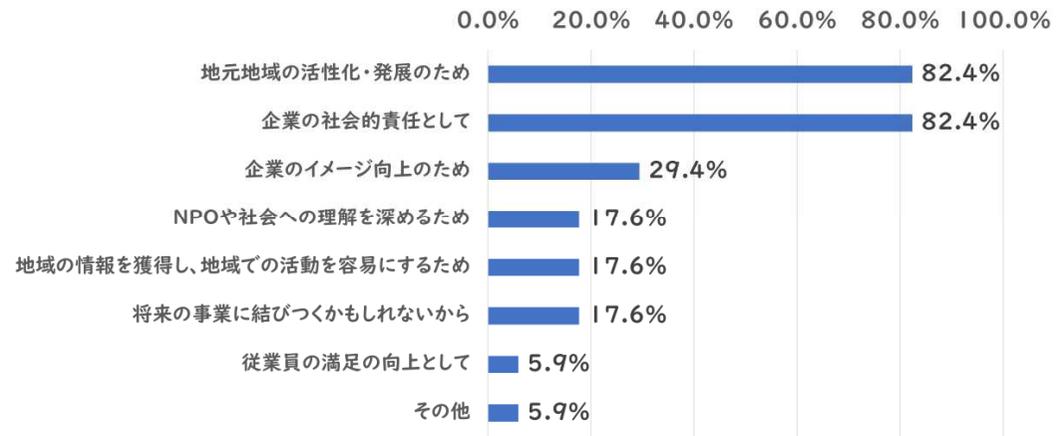


企業・大学と連携した理由は、「地域貢献のパートナーとして認識しているから」が39.3%で最も多く、次いで「活動に必要な人材を確保するため」が35.7%、「活動の基盤となる場や物的資源を得るため」が28.6%である。

企業

Q11.NPOと協力した理由は何ですか。(複数選択可)

【n=17】

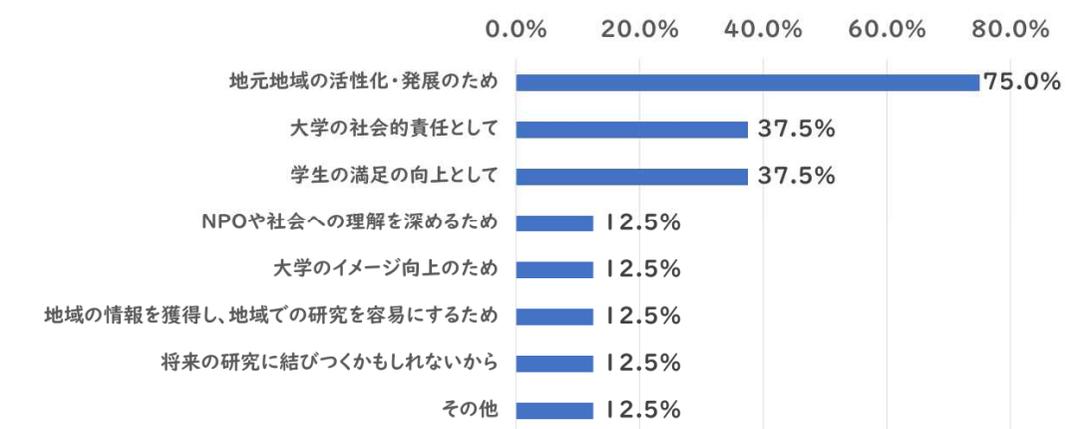


NPOと協力した理由は、「地元地域の活性化・発展のため」「企業の社会的責任として」が82.4%で最も多く、次いで「企業のイメージ向上のため」が29.4%である。

大学

Q11.NPOと協力した理由は何ですか。(複数選択可)

【n=8】



NPOと協力した理由は、「地元地域の活性化・発展のため」が75.0%で最も多く、次いで「大学の社会的責任として」「学生の満足度の向上として」が37.5%である。

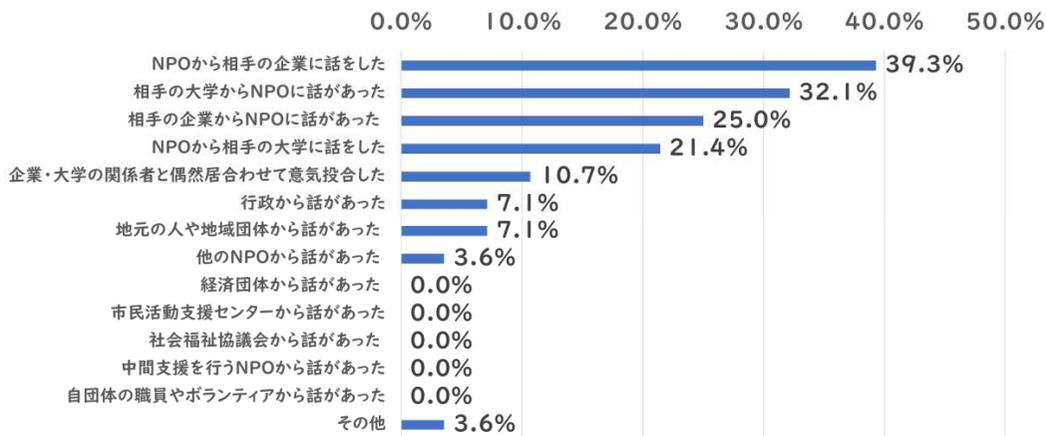
12 協力したきっかけ

- NPOは、「NPOから相手の企業に話をした」が39.3%で最も多く、次いで「相手の大学からNPOに話があった」が32.1%、「相手の企業からNPOに話があった」が25.0%、「NPOから相手の大学に話をした」が21.4%である。
 - 企業は、「相手のNPOから自社に話があった」が58.8%で最も多く、次いで「行政から話があった」が29.4%、「自社から相手のNPOに話をした」「他社や取引先から話があった」が23.5%である。
 - 大学は、「相手のNPOから大学に話があった」が37.5%で最も多く、次いで「大学から相手のNPOに話をした」「大学職員から話があった」「学生から話があった」「地元の人や地域団体から話があった」が25.0%である。
- 3者ともに「NPOから」が多い。企業では「行政から」も多い。

NPO

Q6. 企業・大学と協力したきっかけは何ですか。(複数選択可)

[n=28]

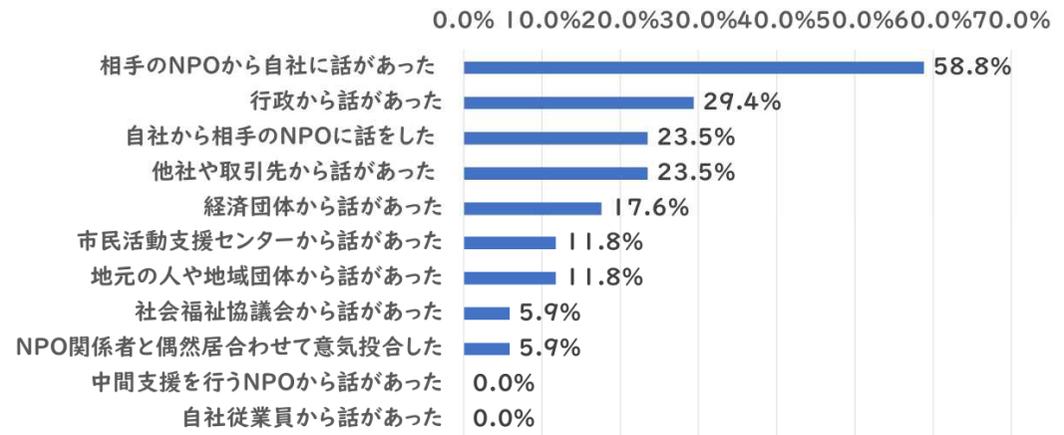


企業・大学と協力したきっかけは、「NPOから相手の企業に話をした」が39.3%で最も多く、次いで「相手の大学からNPOに話があった」が32.1%、「相手の企業からNPOに話があった」が25.0%、「NPOから相手の大学に話をした」が21.4%である。

企業

Q12. NPOと協力したきっかけは何ですか。(複数選択可)

[n=17]

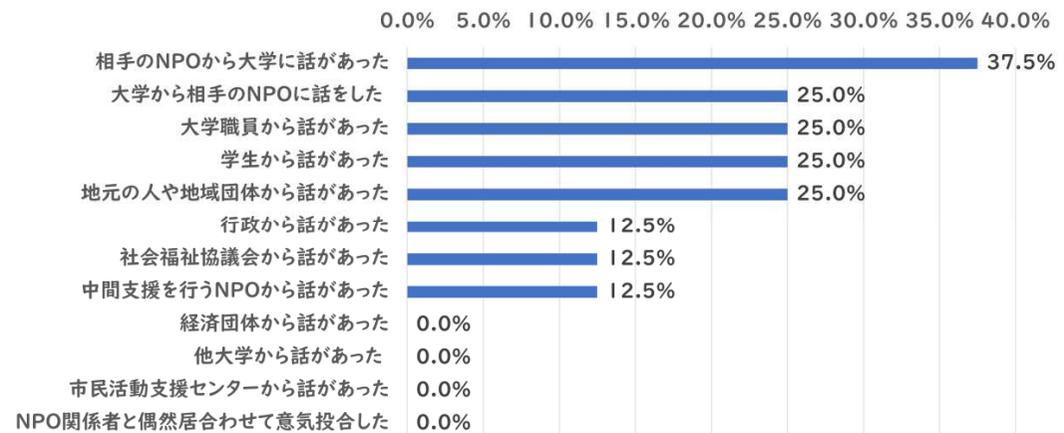


NPOと協力したきっかけは、「相手のNPOから自社に話があった」が58.8%で最も多く、次いで「行政から話があった」が29.4%、「自社から相手のNPOに話をした」「他社や取引先から話があった」が23.5%である。

大学

Q12. NPOと協力したきっかけは何ですか。(複数選択可)

[n=8]



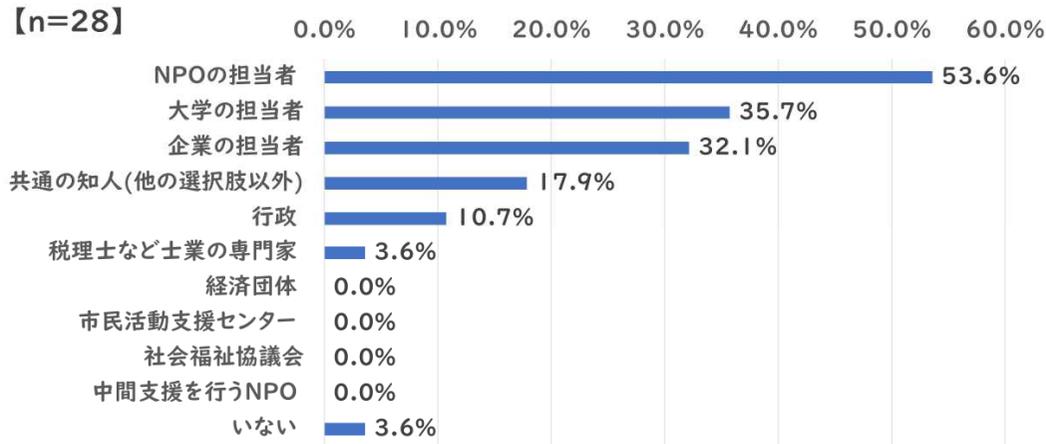
NPOと協力したきっかけは、「相手のNPOから大学に話があった」が37.5%で最も多く、次いで「大学から相手のNPOに話をした」「大学職員から話があった」「学生から話があった」「地元の人や地域団体から話があった」が25.0%である。

13 コーディネートを行った人

- NPOの回答では、「NPOの担当者」が53.6%で最も多く、次いで「大学の担当者」が35.7%、「企業の担当者」が32.1%である。
- 企業の回答では、「相手のNPOの担当者」が52.9%で最も多く、次いで「自社の担当者」が47.1%である。「いない」は17.6%である。
- 大学の回答では、「大学の担当者」が87.5%で最も多く、次いで「相手のNPOの担当者」が50.0%である。
- NPO・企業は「NPOの担当者」が一番多いが、大学は「大学の担当者」が一番多い。協力の当事者同士がコーディネートしている割合が高い。

NPO

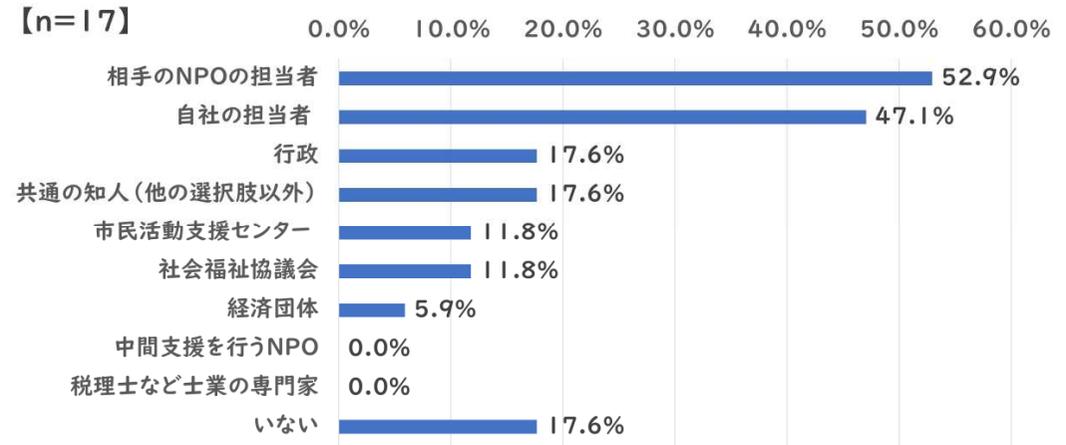
Q7.企業・大学との協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。(複数選択可)



コーディネートを行ったのは、「NPOの担当者」が53.6%で最も多く、次いで「大学の担当者」が35.7%、「企業の担当者」が32.1%である。

企業

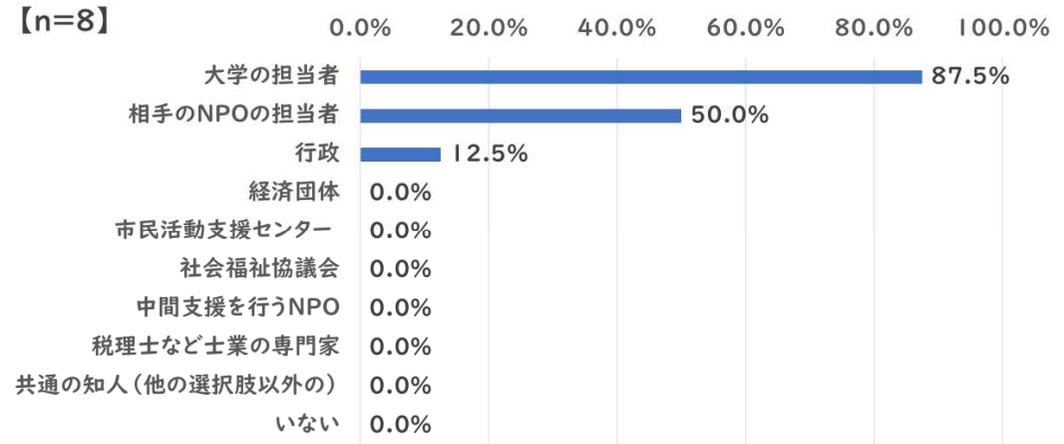
Q13.NPOとの協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。(複数選択可)



NPOとの協力においてコーディネートを行ったのは、「相手のNPOの担当者」が52.9%で最も多く、次いで「自社の担当者」が47.1%である。「いない」は17.6%である。

大学

Q13.NPOとの協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。(複数選択可)



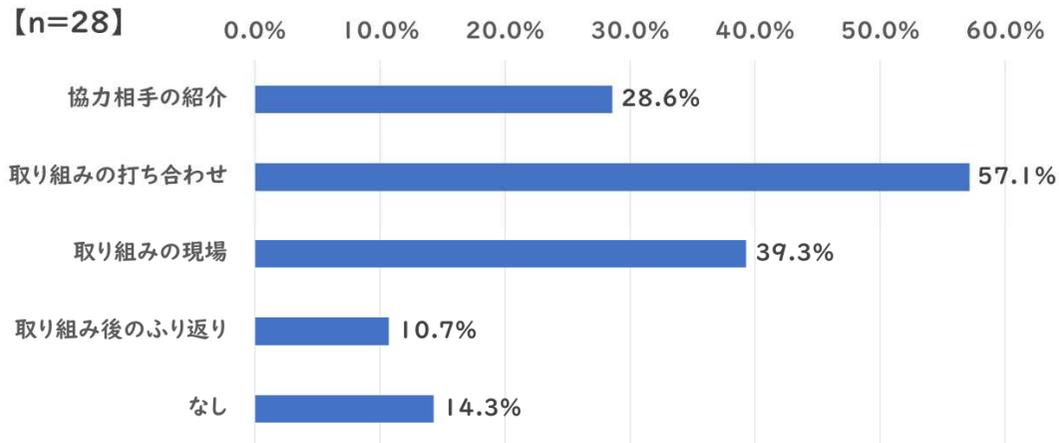
NPOとの協力においてコーディネートを行ったのは、「大学の担当者」が87.5%で最も多く、次いで「相手のNPOの担当者」が50.0%である。

14 コーディネーターが関わった場面

- NPOの回答では、「取り組みの打ち合わせ」が57.1%で最も多く、次いで「取り組みの現場」が39.3%、「協力相手の紹介」が28.6%である。
 - 企業の回答では、「取り組みの打ち合わせ」が76.5%と最も多い。「なし」は23.5%である。
 - 大学の回答では、「協力相手の紹介」「取り組みの打ち合わせ」「取り組みの現場」が50.0%である。
- 3者とも「取り組みの打ち合わせ」の場面での関わりが多い。

NPO

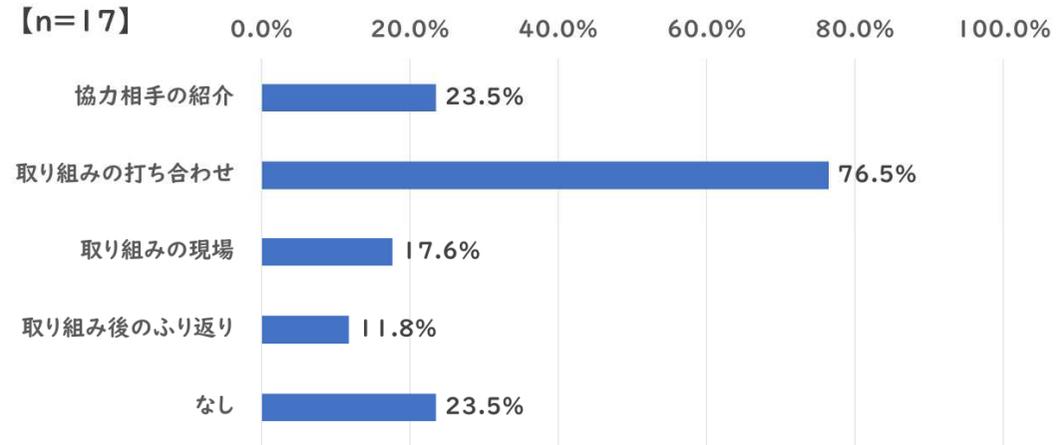
Q8.企業・大学との協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。(複数選択可)



コーディネーターが関わった場面は、「取り組みの打ち合わせ」が57.1%で最も多く、次いで「取り組みの現場」が39.3%、「協力相手の紹介」が28.6%である。

企業

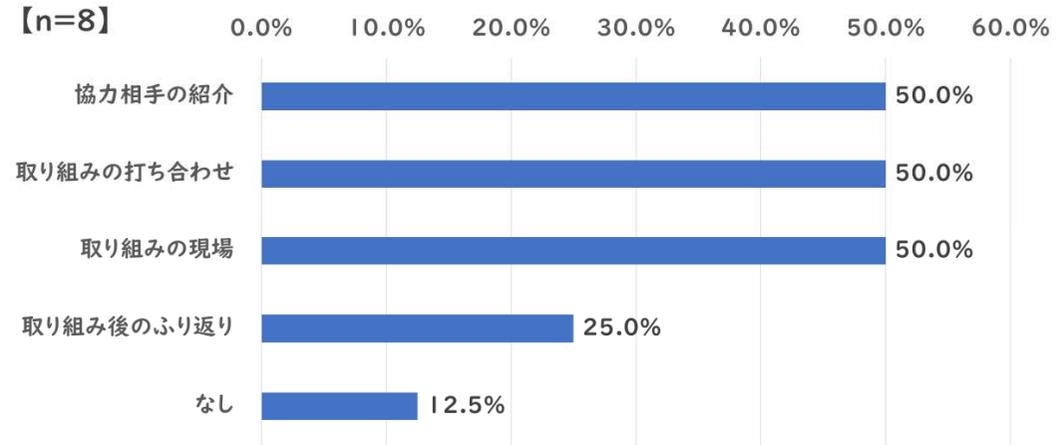
Q14.NPOとの協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。(複数選択可)



NPOとの協力においてコーディネーターが関わった場面は、「取り組みの打ち合わせ」が76.5%と最も多い。「なし」は23.5%である。

大学

Q14.NPOとの協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。(複数選択可)



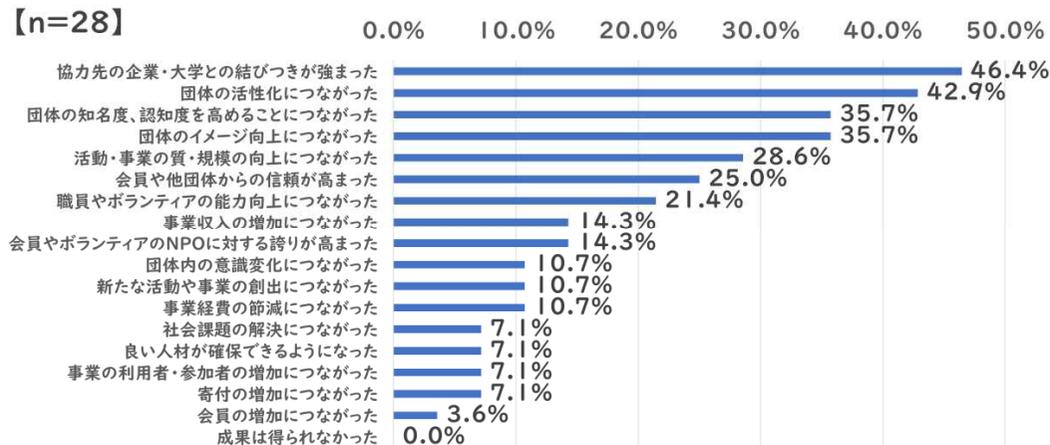
NPOとの協力においてコーディネーターが関わった場面は、「協力相手の紹介」「取り組みの打ち合わせ」「取り組みの現場」が50.0%である。

15 協力に対する評価

- NPOは、「協力先の企業・大学との結びつきが強まった」が46.4%で最も多く、次いで「団体の活性化につながった」が42.9%、「団体の知名度、認知度を高めることにつながった」「団体のイメージ向上につながった」が35.7%である。
 - 企業は、「社会課題の解決につながった」が58.8%で最も多く、次いで「協力先のNPOとの結びつきが強まった」が35.3%、「自社の知名度、認知度を高めることにつながった」は23.5%である。
 - 大学は、「協力先のNPOとの結びつきが強まった」が36.4%と最も多く、次いで「社会課題の解決につながった」「学生の能力向上につながった」「学生の学習の質が高まった」「学生の新たな学習機会につながった」が27.3%である。
- 3者とも「相手との結びつきが強まった」の割合が高い。企業・大学は「社会課題の解決」も多い。

NPO

Q9.企業・大学との協力に対する評価として、どのようなものがありますか。(複数選択可)

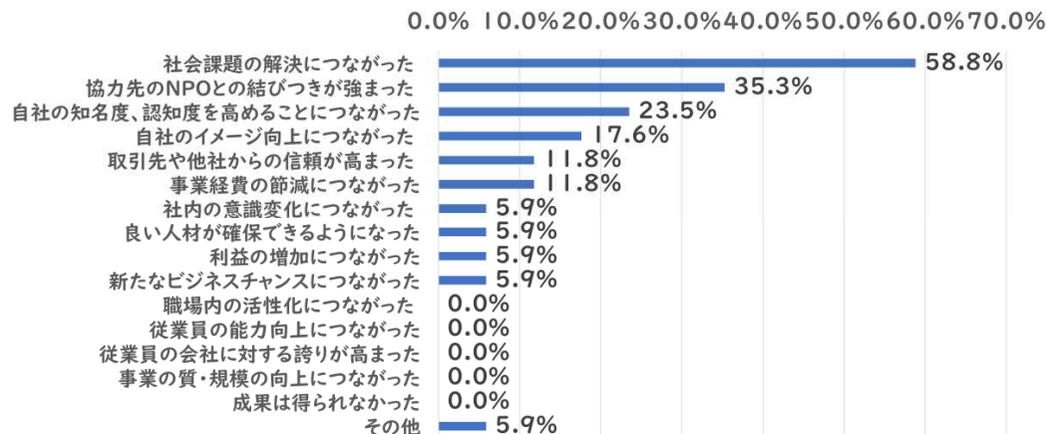


協力に対する評価として、「協力先の企業・大学との結びつきが強まった」が46.4%で最も多く、次いで「団体の活性化につながった」が42.9%、「団体の知名度、認知度を高めることにつながった」「団体のイメージ向上につながった」が35.7%である。

企業

Q15.NPOとの協力に対する評価として、どのようなものがありますか。(複数選択可)

【n=17】

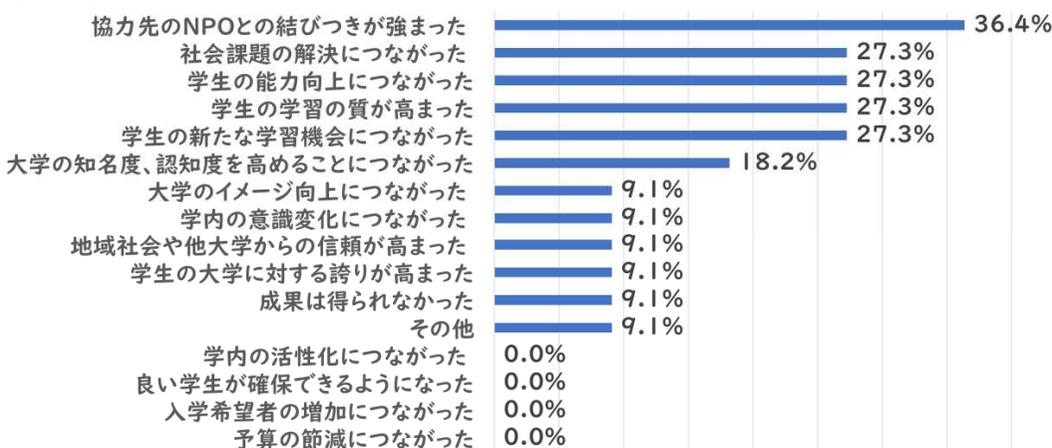


NPOとの協力に対する評価は、「社会課題の解決につながった」が58.8%で最も多く、次いで「協力先のNPOとの結びつきが強まった」が35.3%、「自社の知名度、認知度を高めることにつながった」は23.5%である。

大学

Q15.NPOとの協力に対する評価として、どのようなものがありますか。(複数選択可)

【n=8】



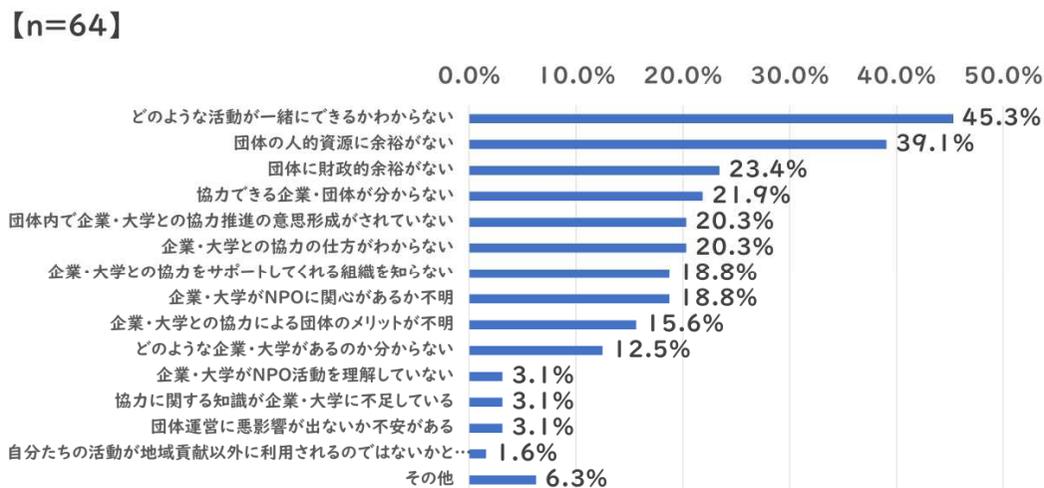
NPOとの協力に対する評価は、「協力先のNPOとの結びつきが強まった」が36.4%と最も多く、次いで「社会課題の解決につながった」「学生の能力向上につながった」「学生の学習の質が高まった」「学生の新たな学習機会につながった」が27.3%である。

16 協力したことがない理由

- NPOは、「どのような活動と一緒にできるかわからない」が45.3%で最も多く、次いで「団体の人的資源に余裕がない」が39.1%、「団体に財政的余裕がない」が23.4%である。
- 企業は、「NPOとの協力の仕方がわからない」40.0%が最も多く、次いで「自社の人的資源に余裕がない」「どのような活動と一緒にできるかわからない」が36.0%、「協力できるNPOがわからない」が28.0%である。
- 大学は、「大学内でNPOとの協力推進の意思形成がされていない」が100.0%で最も多く、次いで「どのようなNPOがあるかわからない」が66.7%である。
- 3者とも何かしらが「分からない」との回答が多く、「人的資源の余裕がない」の回答も多い。大学は「意思形成がされていない」が多い。

NPO

Q13. 企業・大学と協力したことがない理由は何ですか。(複数選択可)

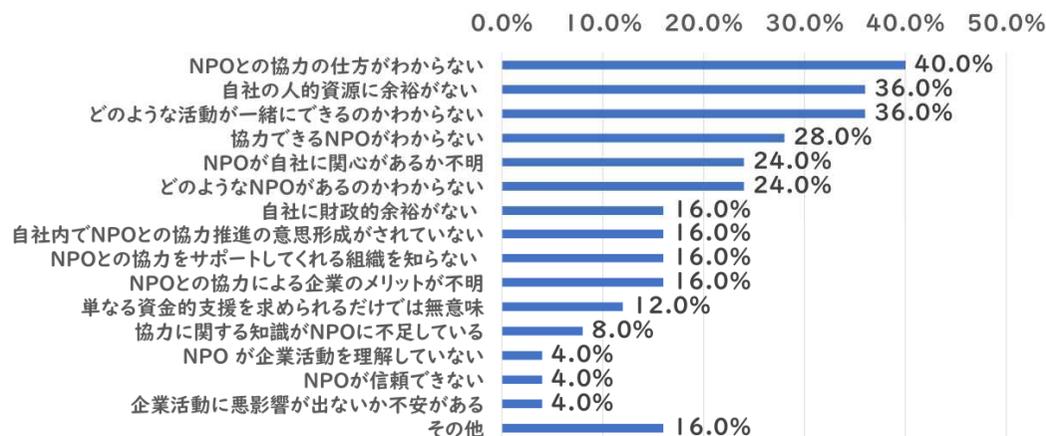


企業・大学と協力したことがない理由は、「どのような活動と一緒にできるかわからない」が45.3%で最も多く、次いで「団体の人的資源に余裕がない」が39.1%、「団体に財政的余裕がない」が23.4%である。

企業

Q19. NPOと協力したことがない理由は何ですか。(複数選択可)

[n=25]

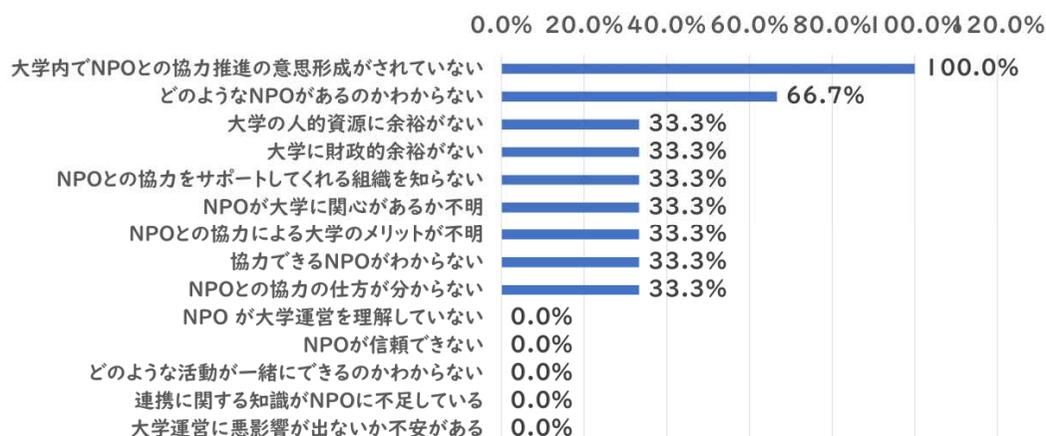


NPOと協力したことがない理由は、「NPOとの協力の仕方がわからない」40.0%が最も多く、次いで「自社の人的資源に余裕がない」「どのような活動と一緒にできるかわからない」が36.0%、「協力できるNPOがわからない」が28.0%である。

大学

Q19. NPOと協力したことがない理由は何ですか。(複数選択可)

[n=3]



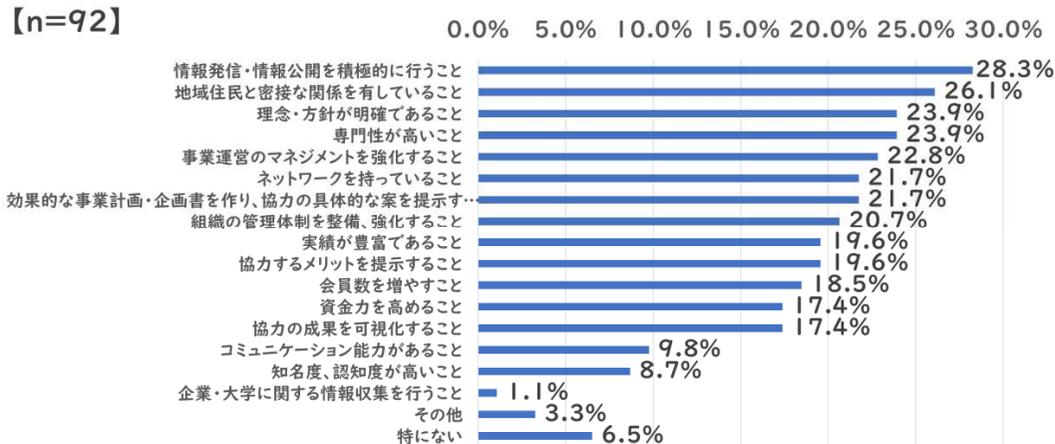
NPOと協力したことがない理由は、「大学内でNPOとの協力推進の意思形成がされていない」が100.0%で最も多く、次いで「どのようなNPOがあるかわからない」が66.7%である。

17 NPOに求められていると思うこと・求めること

- NPO自身が思う「求められていること」は、「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」が28.3%で最も多く、次いで「地域住民と密接な関係を有していること」が26.1%、「理念・方針が明確であること」「専門性が高いこと」が23.9%である。
 - 企業からは、「理念・方針が明確であること」が42.9%で最も多く、次いで「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」が40.5%、「ネットワークを持っていること」「地域住民と密接な関係を有していること」も28.6%ある。
 - 大学からは、「地域住民と密接な関係を有していること」が45.5%で最も多く、次いで「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」「理念・方針が明確であること」「コミュニケーション能力があること」が36.4%である。
- 3者とも「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」「理念・方針が明確であること」「地域住民と密接な関係を有していること」が多い。

NPO

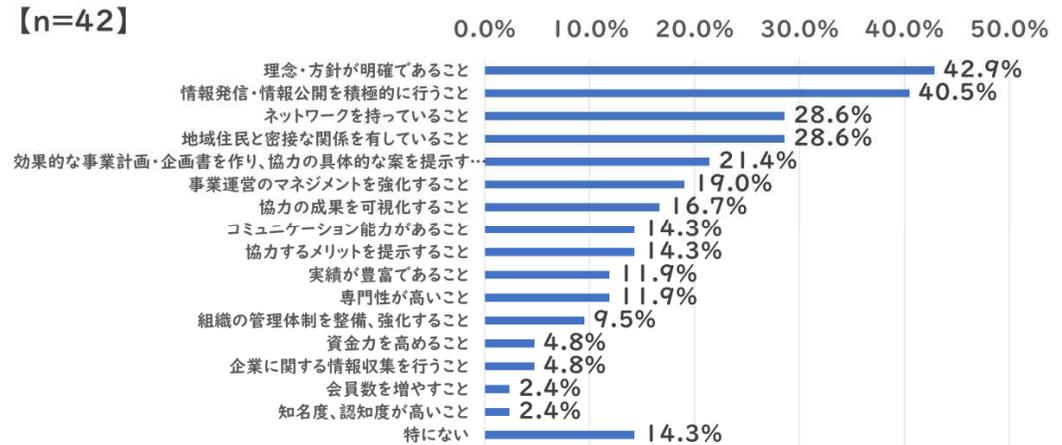
Q14.企業・大学と協力するにあたって、「NPOに求められていること」は何だと思いますか。(主なもの5つまで選択可)



NPOに求められていると思うことは、「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」が28.3%で最も多く、次いで「地域住民と密接な関係を有していること」が26.1%、「理念・方針が明確であること」「専門性が高いこと」が23.9%である。

企業

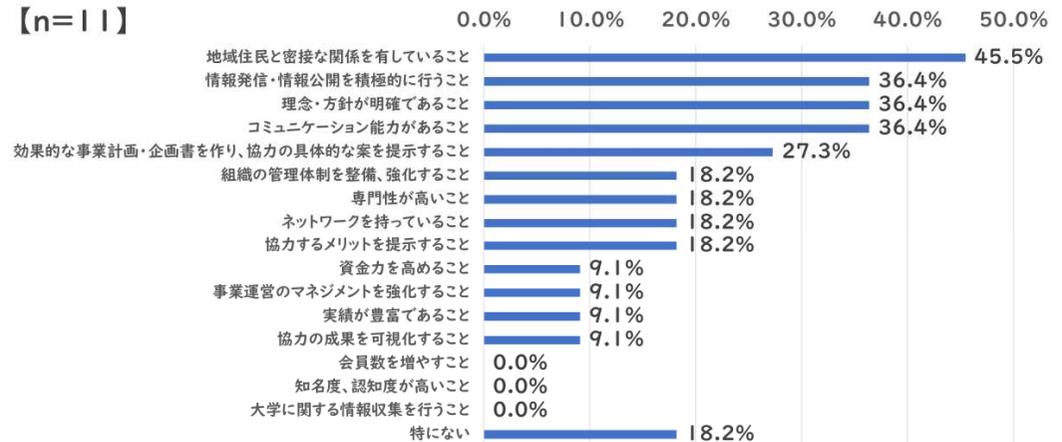
Q20.NPOと協力するにあたって、「NPOを求めること」は何ですか。(主なもの5つまで選択可)



NPOに求めることは、「理念・方針が明確であること」が42.9%で最も多く、次いで「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」が40.5%、「ネットワークを持っていること」「地域住民と密接な関係を有していること」も28.6%ある。

大学

Q20.NPOと協力するにあたって、「NPOを求めること」は何ですか。(主なもの5つまで選択可)



NPOに求めることは、「地域住民と密接な関係を有していること」が45.5%で最も多く、次いで「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」「理念・方針が明確であること」「コミュニケーション能力があること」が36.4%である。

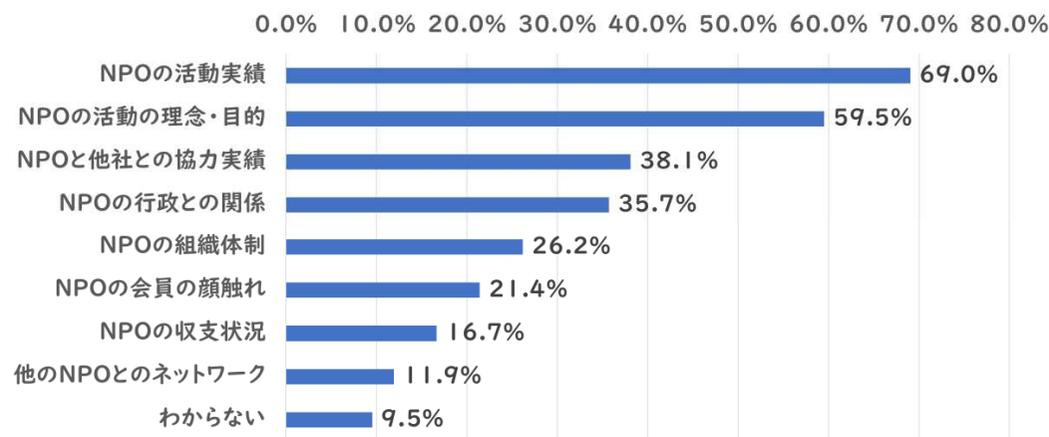
18 NPOと協力しやすくするために必要なNPOの情報

- 企業は、「NPOの活動実績」が69.0%で最も多く、次いで「NPOの活動の理念・目的」が59.5%、「NPOと他社との協力実績」が38.1%である。
- 大学は、「NPOの活動実績」が81.8%で最も多く、次いで「NPOの活動の理念・目的」が63.6%、「NPOの組織体制」「NPOと他社との協力実績」が54.5%である。
- 企業・大学ともに「NPOの活動実績」「NPOの活動の理念・目的」「NPOと他社との協力実績」が多い。

企業

Q21.NPOのどのような情報があれば、協力しやすいと思いますか。(複数選択可)

【n=42】

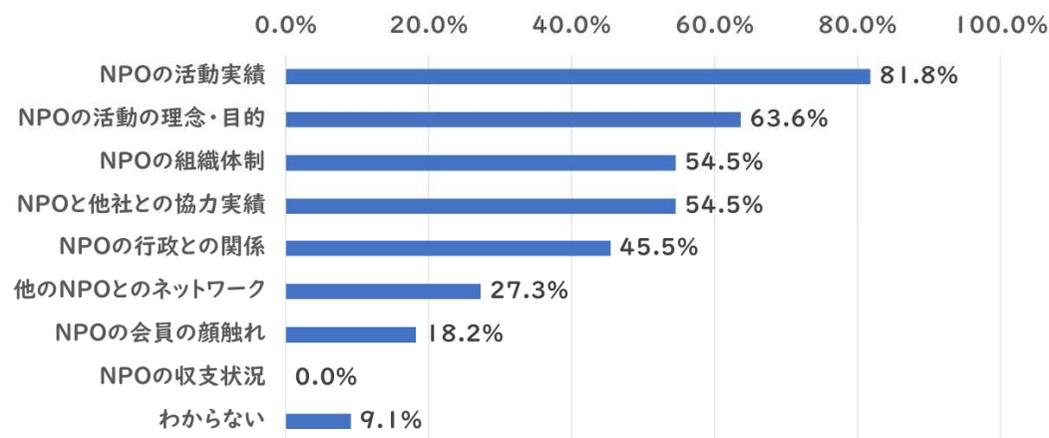


NPOと協力しやすくするために必要なNPOの情報は、「NPOの活動実績」が69.0%で最も多く、次いで「NPOの活動の理念・目的」が59.5%、「NPOと他社との協力実績」が38.1%である。

大学

Q21.NPOのどのような情報があれば、協力しやすいと思いますか。(複数選択可)

【n=11】



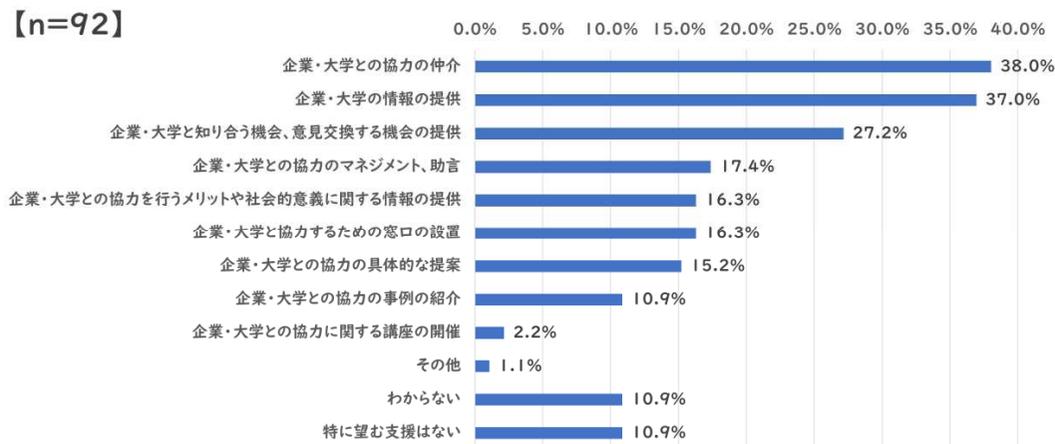
NPOと協力しやすくするために必要なNPOの情報は、「NPOの活動実績」が81.8%で最も多く、次いで「NPOの活動の理念・目的」が63.6%、「NPOの組織体制」「NPOと他社との協力実績」が54.5%である。

19 コーディネート担う組織に求める役割

- NPOは、「企業・大学との協力の仲介」が38.0%で最も多く、次いで「企業・大学の情報の提供」が37.0%、「企業・大学と知り合う機会、意見交換する機会の提供」が27.2%である。
 - 企業は、「NPOの情報の提供」が47.6%と最も多く、次いで「NPOとの協力の仲介」が38.1%、「NPOとの協力の事例の紹介」が28.6%である。
 - 大学は、「NPOの情報の提供」が45.5%と最も多く、次いで「NPOとの協力の仲介」「NPOとの協力の事例の紹介」「NPOとの協力の具体的な提案」が36.4%である。
- 3者とも「(相手の)情報の提供」「協力の仲介」「事例の紹介」が多い。

NPO

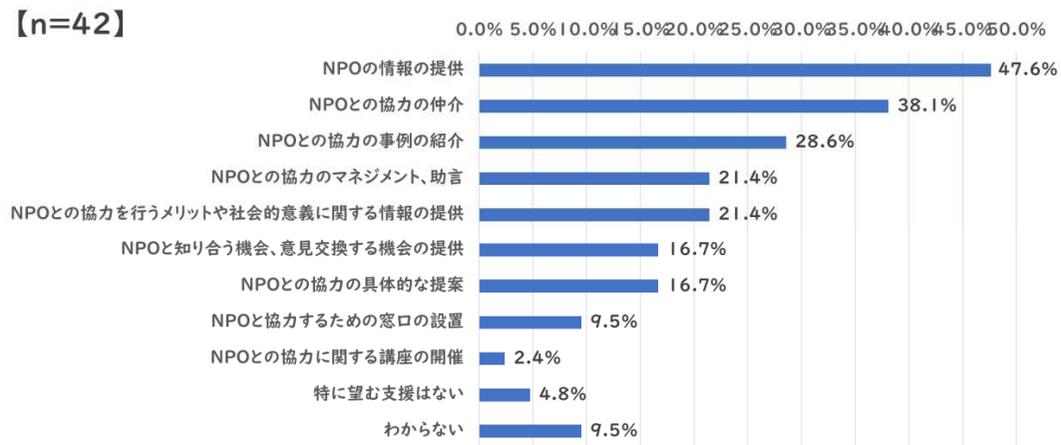
Q15.企業・大学と協力するにあたって、「行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割」は何ですか。(主なもの3つまで選択可)



行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割は、「企業・大学との協力の仲介」が38.0%で最も多く、次いで「企業・大学の情報の提供」が37.0%、「企業・大学と知り合う機会、意見交換する機会の提供」が27.2%である。

企業

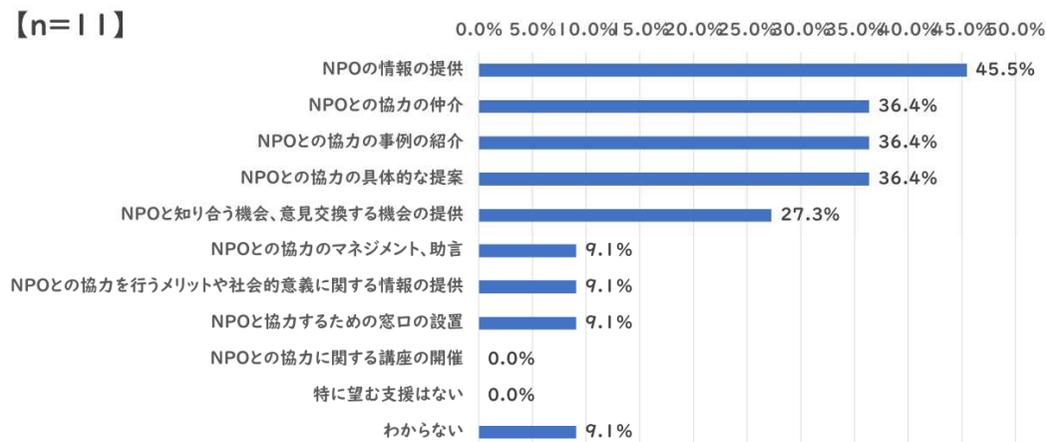
Q22.NPOと協力するにあたって、「行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割」は何ですか。(主なもの3つまで選択可)



行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割は、「NPOの情報の提供」が47.6%と最も多く、次いで「NPOとの協力の仲介」が38.1%、「NPOとの協力の事例の紹介」が28.6%である。

大学

Q22.NPOと協力するにあたって、「行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割」は何ですか。(主なもの3つまで選択可)



行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割は、「NPOの情報の提供」が45.5%と最も多く、次いで「NPOとの協力の仲介」「NPOとの協力の事例の紹介」「NPOとの協力の具体的な提案」が36.4%である。

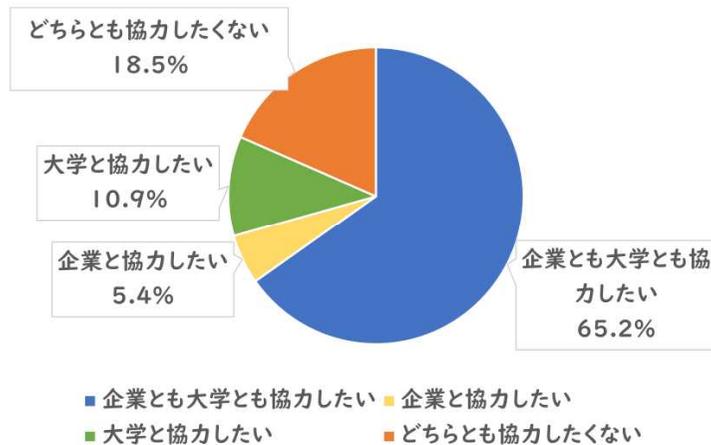
20 今後、条件が整えば、協力したいか

- NPOは、「協力したい」が全て合わせて81.5%である。
- 企業は、「行いたい」が71.4%である。
- 大学は、「行いたい」が81.8%である。
- 3者とも半数以上が「条件が整えば協力したい」と回答している。

NPO

Q16. 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたいと思いますか。(1つ選択)

【n=92】

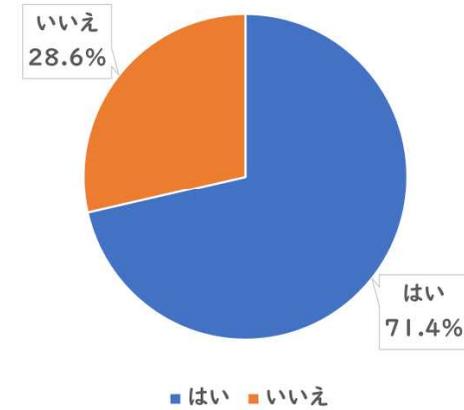


今後、条件が整えば、「協力したい」が全て合わせて81.5%である。

企業

Q23. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思いますか。(1つ選択)

【n=42】

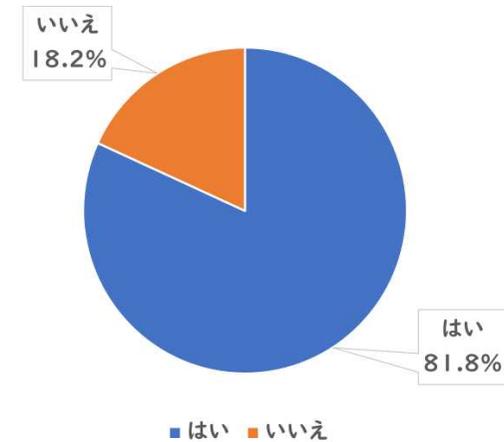


今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」が71.4%である。

大学

Q23. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思いますか。(1つ選択)

【n=11】



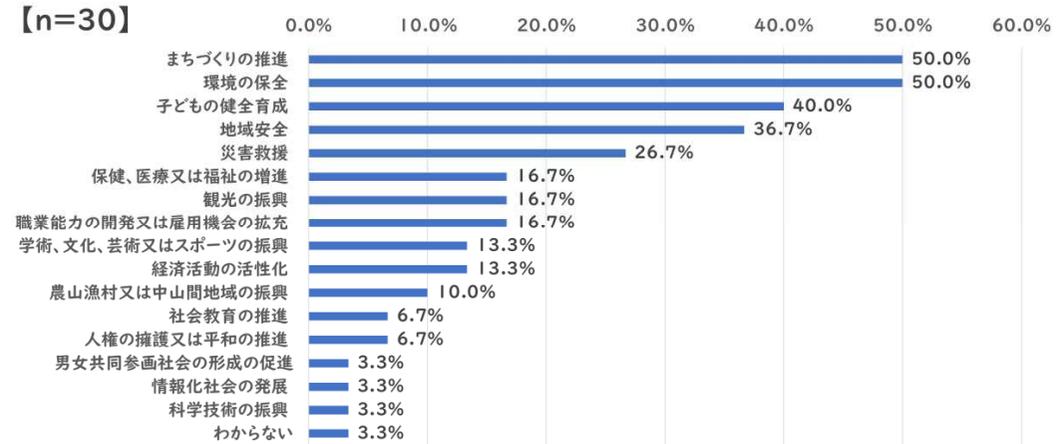
今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」が81.8%である。

21 協力したい活動分野

- 企業は、「まちづくりの推進」「環境の保全」が50.0%と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が40.0%、「地域安全」が36.7%である。
- 大学は、「保健、医療又は福祉の増進」が55.6%で最も多く、次いで「社会教育の推進」「まちづくりの推進」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」「災害救援」「子どもの健全育成」が33.3%である。
- 企業と大学ではNPOと協力したい活動分野が異なるが、「まちづくりの推進」「子どもの健全育成」はともに多い。

企業

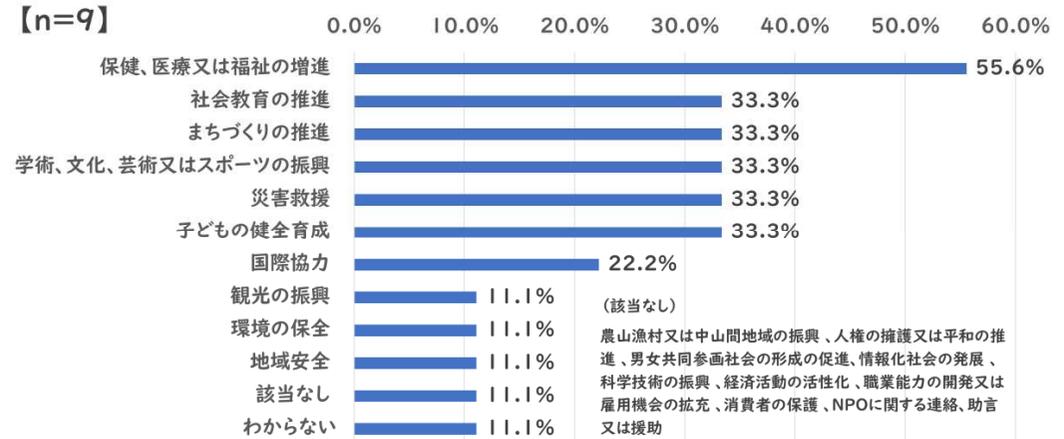
Q24.どのような活動分野のNPOと協力してみたいですか。(主なものを5つまで選択可)



NPOとの協力で取り組みたい活動分野は、「まちづくりの推進」「環境の保全」が50.0%と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が40.0%、「地域安全」が36.7%である。

大学

Q24.どのような活動分野のNPOと協力してみたいですか。(主なものを5つまで選択可)



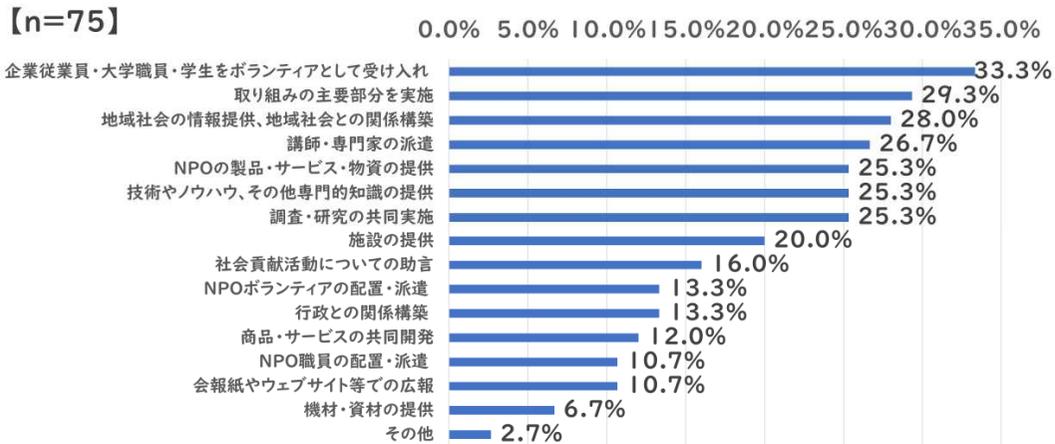
NPOとの協力で取り組みたい活動分野は、「保健、医療又は福祉の増進」が55.6%で最も多く、次いで「社会教育の推進」「まちづくりの推進」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」「災害救援」「子どもの健全育成」が33.3%である。

22 NPOに期待する役割・NPOから提供できる資源

- NPOから提供できる資源は、「企業従業員・大学職員・学生をボランティアとして受け入れ」が33.3%で最も多く、次いで「取り組みの主要部分を実施」が29.3%、「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が28.0%である。
- 企業がNPOに期待する役割は、「取り組みの主要部分を実施」が50.0%で最も多く、次いで「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が40.0%、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が36.7%、「自社のCSR・社会貢献活動に対する助言」が30.0%である。
- 大学がNPOに期待する役割は、「大学職員・学生をボランティアとして受け入れ」「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が55.6%で最も多く、次いで「講師・専門家の派遣」が44.4%である。
- 「取り組みの主要部分を実施」「ボランティア受け入れ」「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」はできることと期待が一致している。

NPO

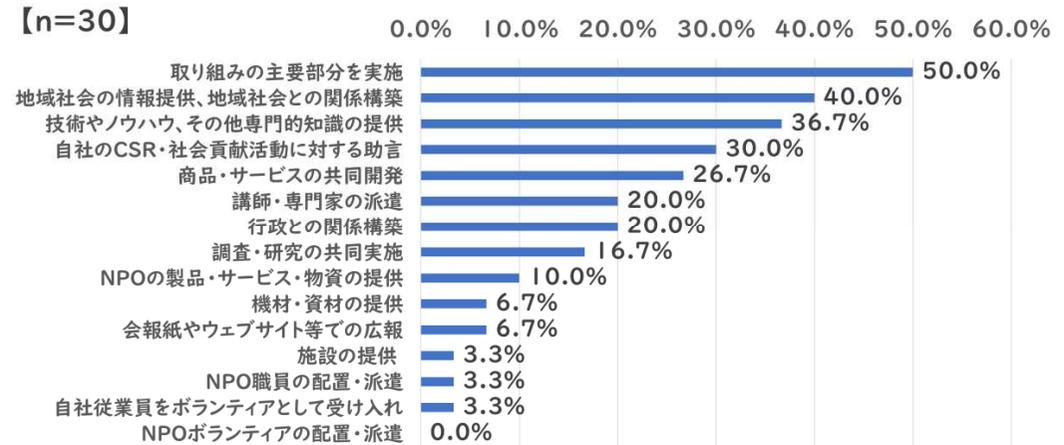
Q17.企業・大学と協力する場合に「貴団体から提供できる資源」は何ですか。(複数選択可)



NPOから提供できる資源は、「企業従業員・大学職員・学生をボランティアとして受け入れ」が33.3%で最も多く、次いで「取り組みの主要部分を実施」が29.3%、「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が28.0%である。

企業

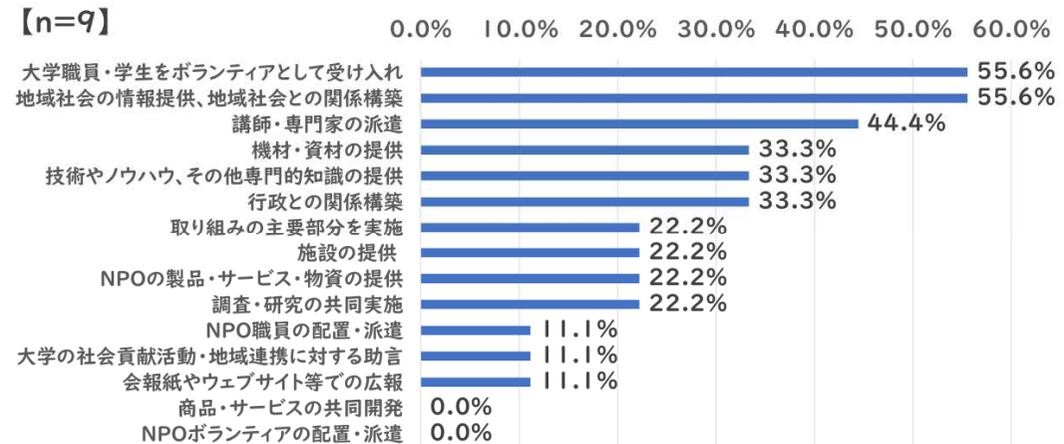
Q26.NPOと協力する場合に「NPOに期待する役割」は何ですか。(主なもの5つまで選択可)



NPOに期待する役割は、「取り組みの主要部分を実施」が50.0%で最も多く、次いで「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が40.0%、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が36.7%、「自社のCSR・社会貢献活動に対する助言」が30.0%である。

大学

Q26.NPOと協力する場合に「NPOに期待する役割」は何ですか。(主なもの5つまで選択可)



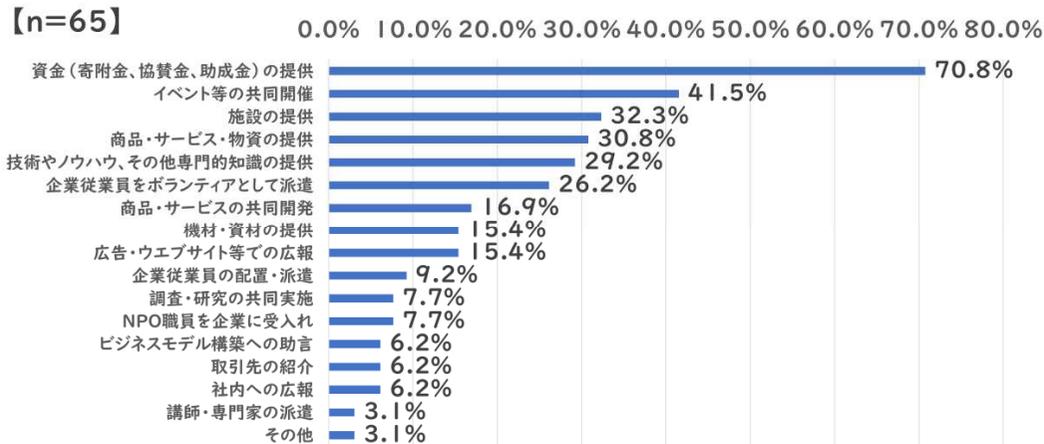
NPOに期待する役割は、「大学職員・学生をボランティアとして受け入れ」「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が55.6%で最も多く、次いで「講師・専門家の派遣」が44.4%である。

23 企業に期待する役割・企業から提供できる資源

- NPOが企業に期待する役割は、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が70.8%で最も多く、次いで「イベント等の共同開催」が41.5%、「施設の提供」が32.3%、「商品・サービス・物資の提供」が30.8%である。
- 企業から提供できる資源は、「イベント等の共同開催」が43.3%で最も多く、次いで「自社商品・サービス・物資の提供」が36.7%、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が33.3%、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が26.7%である。
- NPOからの期待は「資金の提供」が一番多いが、企業では「イベント等の共同開催」「自社商品・サービス・物資の提供」の次となっている。「イベント等の共同開催」はともに多い。

NPO

Q18.企業と協力する場合に「企業に期待する役割」は何ですか。（主なもの5つまで選択可）

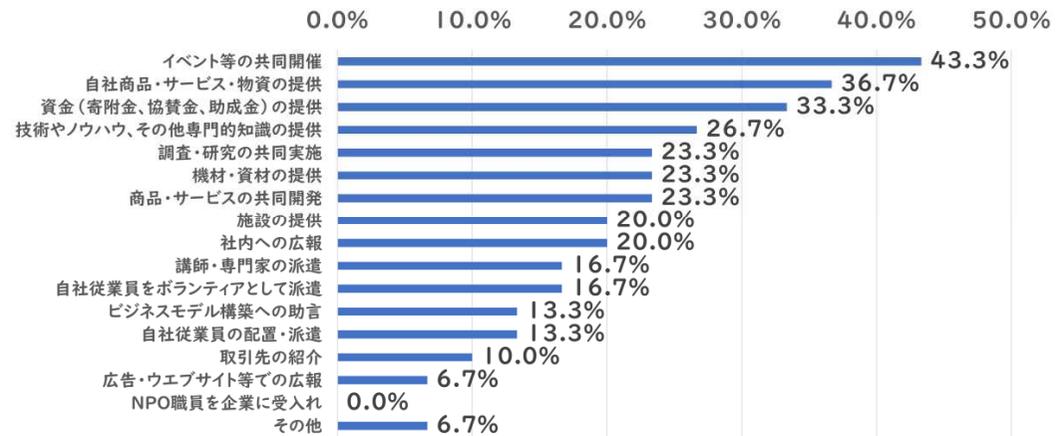


企業に期待する役割は、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が70.8%で最も多く、次いで「イベント等の共同開催」が41.5%、「施設の提供」が32.3%、「商品・サービス・物資の提供」が30.8%である。

企業

Q25.NPOと協力する場合に「貴社から提供できる資源」は何ですか。（複数選択可）

【n=30】



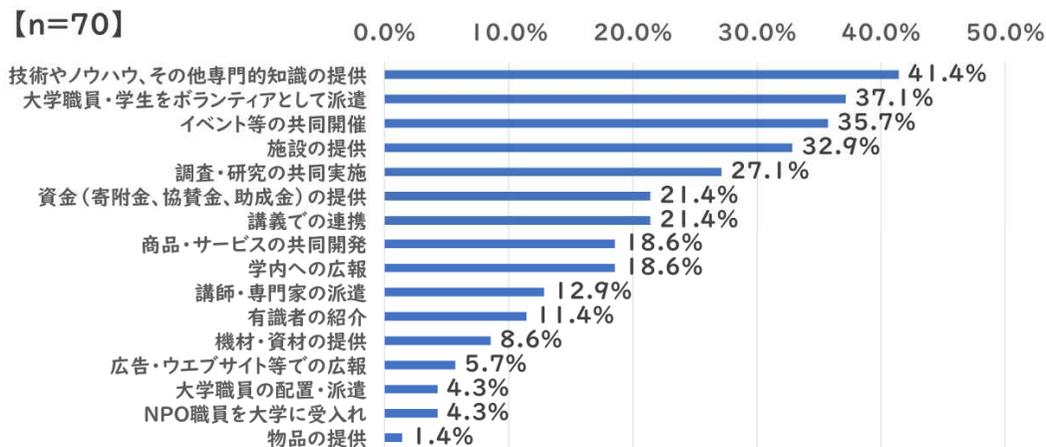
企業から提供できる資源は、「イベント等の共同開催」が43.3%で最も多く、次いで「自社商品・サービス・物資の提供」が36.7%、「資金（寄附金、協賛金、助成金）の提供」が33.3%、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が26.7%である。

24 大学に期待する役割・大学から提供できる資源

- NPOが大学に期待する役割は、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が41.4%で最も多く、次いで「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が37.1%、「イベント等の共同開催」が35.7%、「施設の提供」が32.9%である。
- 大学から提供できる資源は、「講義での連携」が87.5%で最も多く、次いで「イベント等の共同開催」「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が75.0%、「施設の提供」「調査・研究の共同実施」「講師・専門家の派遣」が62.5%である。
- NPOからの期待は「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が一番多いが、大学では7番目である。逆に大学からは「講義での連携」が一番多いが、NPOでは7番目である。「ボランティア派遣」「イベント等の共同開催」「施設の提供」「調査・研究の共同実施」については、できることと期待がほぼ一致している。

NPO

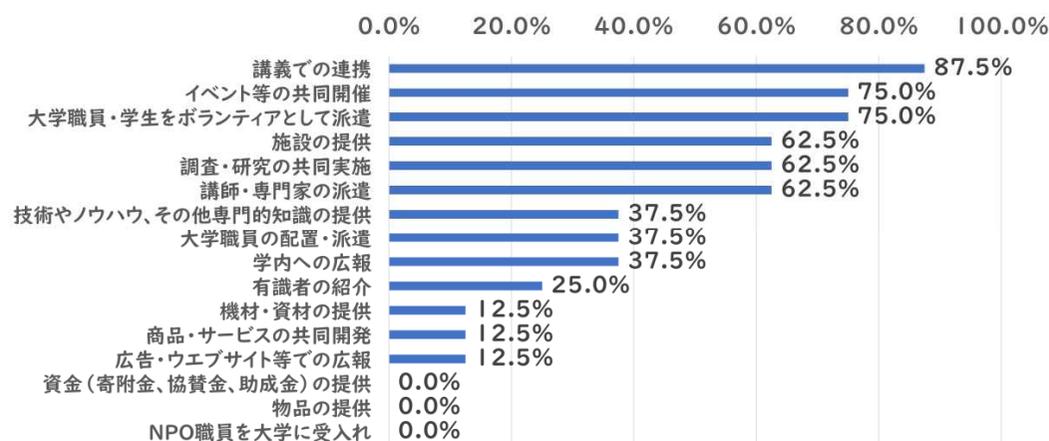
Q19. 大学と協力する場合に「大学に期待する役割」は何ですか。(主なもの5つまで選択可)



大学に期待する役割は、「技術やノウハウ、その他専門的知識の提供」が41.4%で最も多く、次いで「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が37.1%、「イベント等の共同開催」が35.7%、「施設の提供」が32.9%である。

大学

Q25. NPOと協力する場合に「貴学から提供できる資源」は何ですか。(複数選択可) 【n=9】



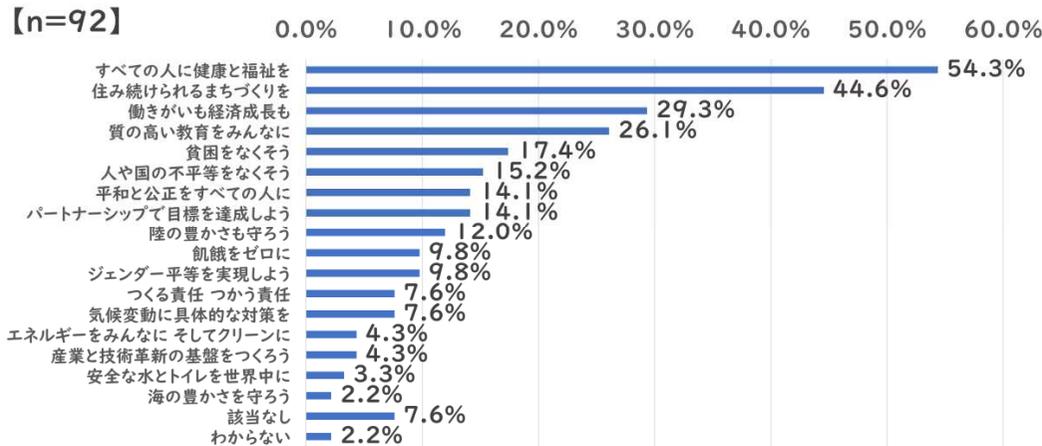
大学から提供できる資源は、「講義での連携」が87.5%で最も多く、次いで「イベント等の共同開催」「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が75.0%、「施設の提供」「調査・研究の共同実施」「講師・専門家の派遣」が62.5%である。

25 関連するSDGsのゴール

- NPOは、「すべての人に健康と福祉を」が54.3%で最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」が44.6%、「働きがいも経済成長も」が29.3%、「質の高い教育をみんなに」が26.1%である。
- 企業は、「働きがいも経済成長も」が59.5%で最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任 つかう責任」52.4%がである。
- 大学は、「質の高い教育をみんなに」が72.7%で最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が63.6%、「平和と公正をすべての人に」が45.5%である。
- 目指すゴールは各々異なるが、「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「働きがいも経済成長も」「質の高い教育をみんなに」など一致するゴールもある。

NPO

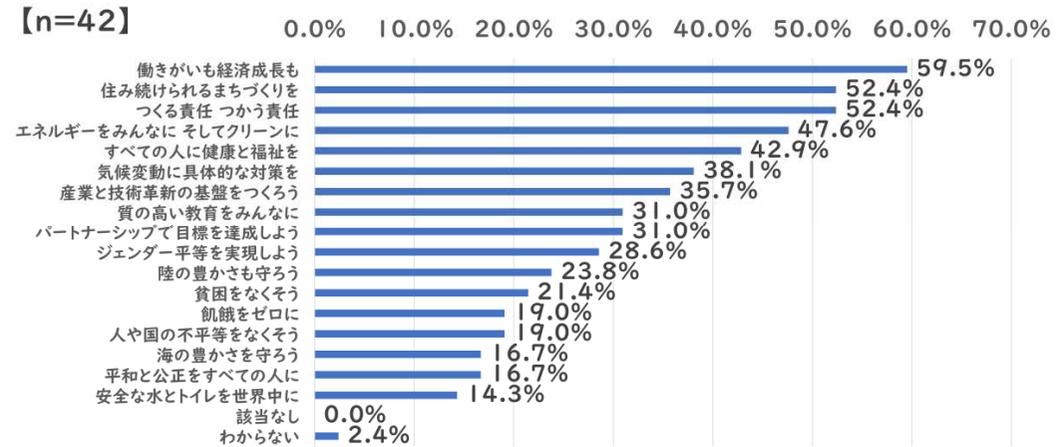
Q20.団体のミッション(社会的使命)と関係するSDGs(持続可能な開発目標)のゴールはどれですか。(複数選択可)



団体のミッションと関係するSDGsのゴールは、「すべての人に健康と福祉を」が54.3%で最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」が44.6%、「働きがいも経済成長も」が29.3%、「質の高い教育をみんなに」が26.1%である。

企業

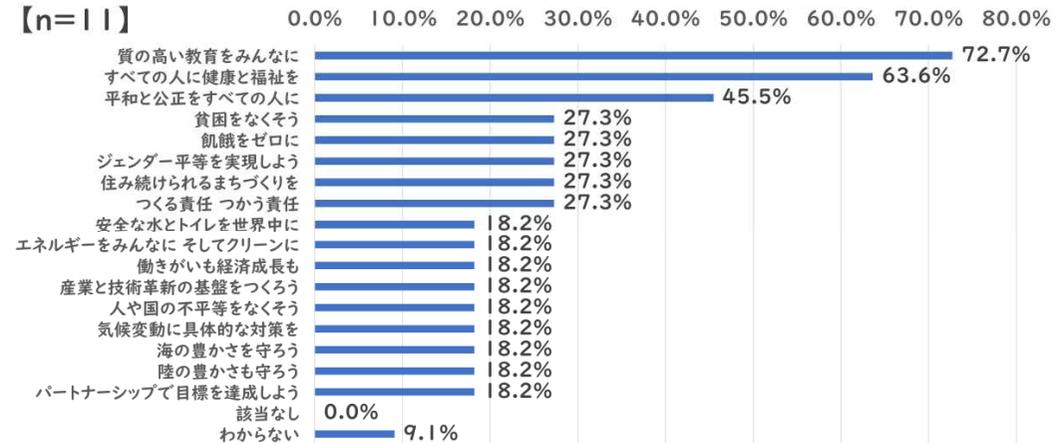
Q27.貴社の理念と関係するSDGs(持続可能な開発目標)のゴールはどれですか。(複数選択可)



企業の理念と関係するSDGsのゴールは、「働きがいも経済成長も」が59.5%で最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任 つかう責任」52.4%がである。

大学

Q27.貴学の理念と関係するSDGs(持続可能な開発目標)のゴールはどれですか。(複数選択可)



大学の理念と関係するSDGsのゴールは、「質の高い教育をみんなに」が72.7%で最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が63.6%、「平和と公正をすべての人に」が45.5%である。

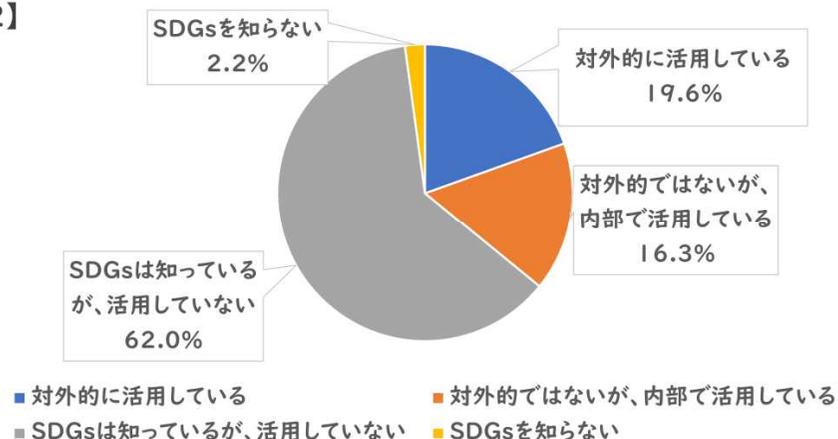
26 SDGsを活用しているか

- NPOは、「対外的な発信や事業実施に活用している」は19.1%、「対外的ではないが、内部で活用している」は16.3%であり、「活用している」のは合わせて35.9%である。「SDGsを知らない」は2.2%である。
 - 企業は、「対外的な発信や事業実施に活用している」は65.1%、「対外的ではないが、内部で活用している」は11.6%であり、「活用している」のは合わせて76.7%である。「SDGsを知らない」と回答した企業はない。
 - 大学は、「対外的な発信や事業実施に活用している」は18.2%、「対外的ではないが、内部で活用している」は45.5%であり、「活用している」のは合わせて63.7%である。「SDGsを知らない」と回答した大学はない。
- 企業は対外的に活用している割合が高い。大学は内部で活用しているのを合わせると半数以上が活用している。NPOは活用している割合が低い。

NPO

Q21.団体のミッションとSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。(1つ選択)

【n=92】

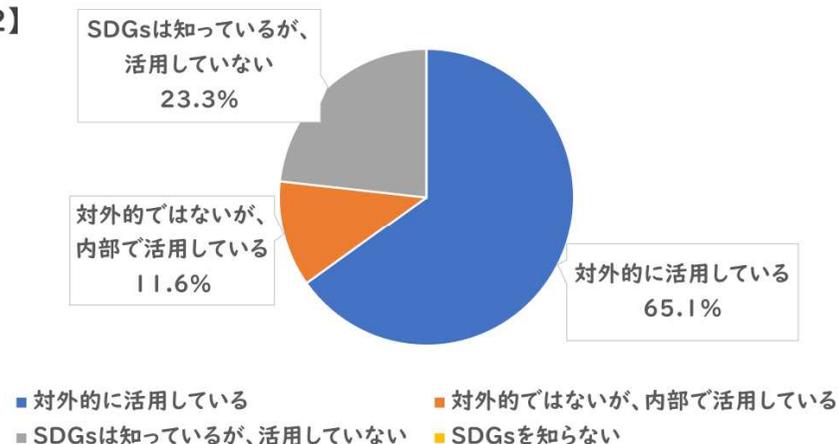


「対外的な発信や事業実施に活用している」は19.1%、「対外的ではないが、内部で活用している」は16.3%であり、「活用している」のは合わせて35.9%である。「SDGsを知らない」は2.2%である。

企業

Q28.貴社の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。(1つ選択)

【n=42】

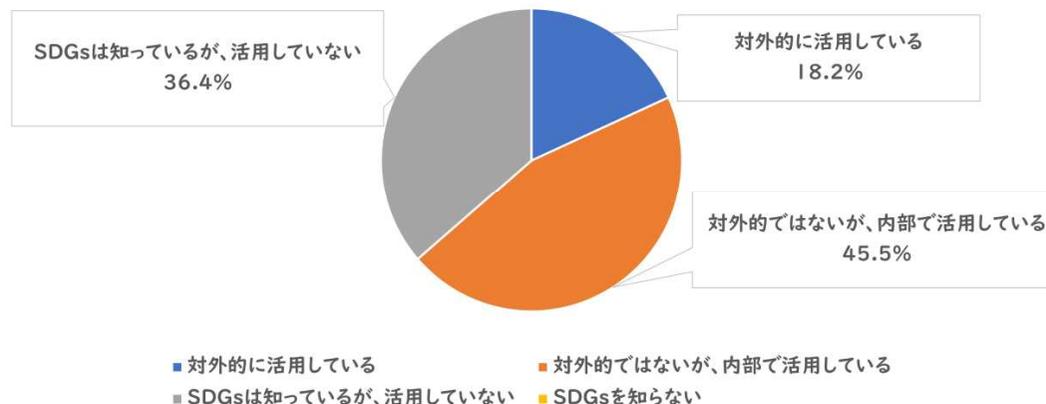


企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」のは65.1%、「対外的ではないが、内部で活用している」は11.6%であり、「活用している」のは合わせて76.7%である。「SDGsを知らない」と回答した企業はない。

大学

Q28.貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。(1つ選択)

【n=11】



大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」は18.2%、「対外的ではないが、内部で活用している」は45.5%であり、「活用している」のは合わせて63.7%である。「SDGsを知らない」と回答した大学はない。

IV クロス分析

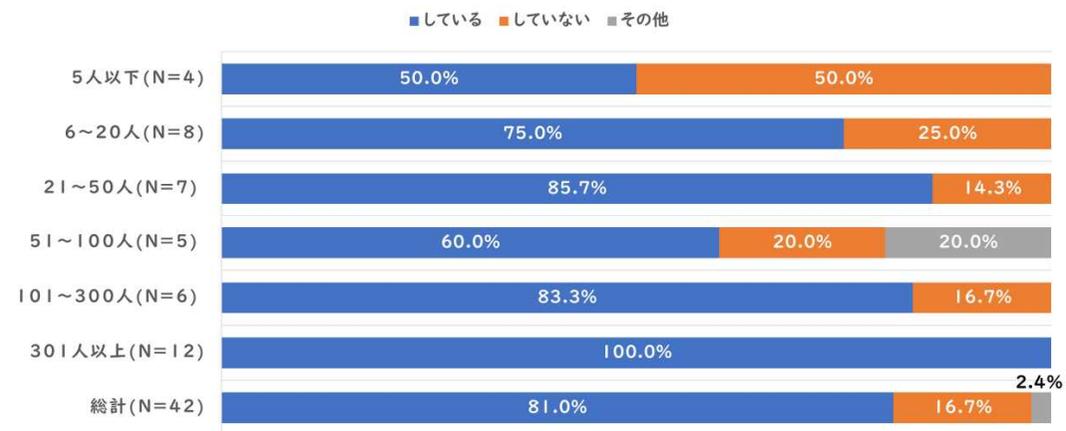
従業員数・学生数×社会貢献活動の実施

- 企業は、全体では、CSR・社会貢献活動を「実施している割合」は81.0%であるが、従業員が「301人以上」の企業では100%である。
- 大学は、社会貢献活動・地域連携を「実施している」割合が100%である。
- 企業は、従業員数が多い方が、CSR・社会貢献活動を実施している割合が高い傾向がある。

企業

2. 従業員数 × CSR・社会貢献活動を実施しているか

【n=42】



全体では、CSR・社会貢献活動を実施している割合は81.0%であるが、従業員が「301人以上」の企業では100%である。

大学

1. 学生数 × 社会貢献活動・地域連携を実施しているか

【n=11】



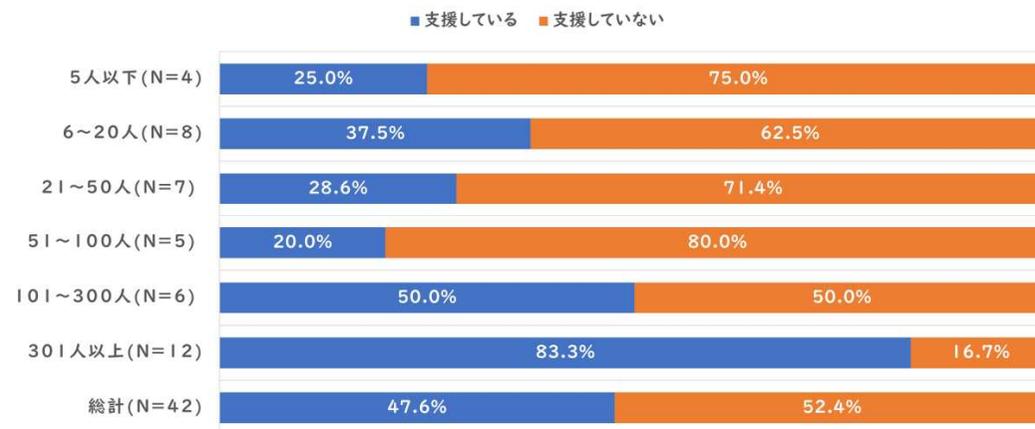
社会貢献活動・地域連携を「実施している」割合が100%である。

2 従業員数・学生数×個人で行う社会貢献活動の支援

- 企業は、全体では、従業員が個人で行う社会貢献活動を支援している割合は47.6%であるが、従業員数が「301人以上」の企業では83.3%で割合が高い。
 - 大学は、全体では、職員・学生が個人で行う社会貢献活動を「支援している」割合は81.8%であるが、学生数が「500人以下」「2,001人~3,000人」「5,001~10,000人」の大学は100%である。
- 企業は、従業員数が多い方が、従業員が個人で行う社会貢献活動を支援している割合が高い傾向がある。

企業

4.従業員数 × 従業員が個人で行う社会貢献活動を支援しているか 【n=42】



全体では、従業員が個人で行う社会貢献活動を支援している割合は47.6%であるが、従業員数が「301人以上」の企業では83.3%で割合が高い。

大学

2.学生数 × 職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか 【n=11】



全体では、職員・学生が個人で行う社会貢献活動を「支援している」割合は81.8%であるが、学生数が「500人以下」「2,001人~3,000人」「5,001~10,000人」の大学は100%である。

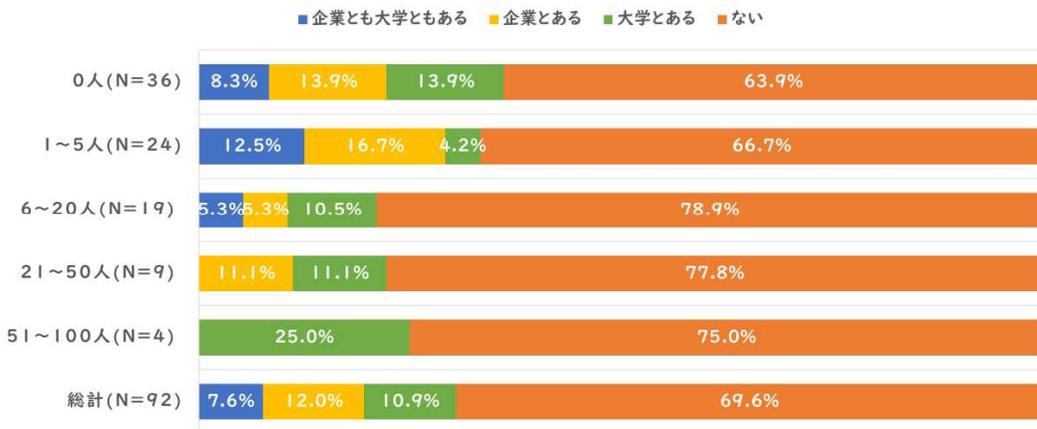
3 有給職員数・従業員数・学生数×過去3年の協力有無

- NPOは、全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は30.4%である。有給職員数が5人以下では割合が高い傾向が見られる。
 - 企業は、全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことがある割合は40.5%であるが、従業員数が「101～300人」の企業では66.7%、「301人以上」の企業では58.3%で割合が高い。
 - 大学は、全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は72.7%であるが、学生数が「500人以下」「1,001～2,000人」「2,001～3,000人」の大学では100%である。
- 企業は、従業員数が多い方が、協力の実績がある割合が高い傾向がある。
- NPOは、有給職員数が5人以下の方が、協力の実績がある割合が高い傾向がある。協力の実績がある割合が一番高いのは、有給職員数が0人のNPOである。

NPO

4. 有給職員数 × 過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはあるか

【n=92】

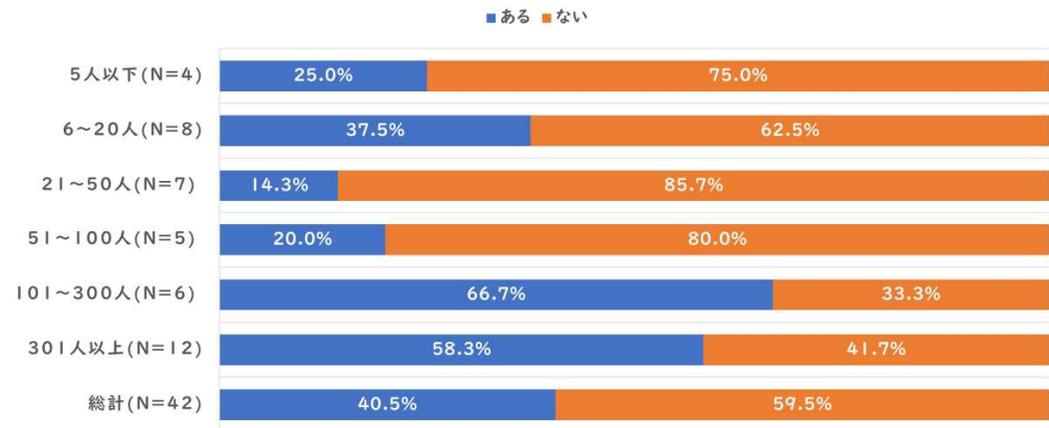


全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は30.4%である。有給職員数が5人以下では割合が高い傾向が見られる。

企業

6. 従業員数 × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか

【n=42】



全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことがある割合は40.5%であるが、従業員数が「101～300人」の企業では66.7%、「301人以上」の企業では58.3%で割合が高い。

大学

3. 学生数 × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか

【n=11】

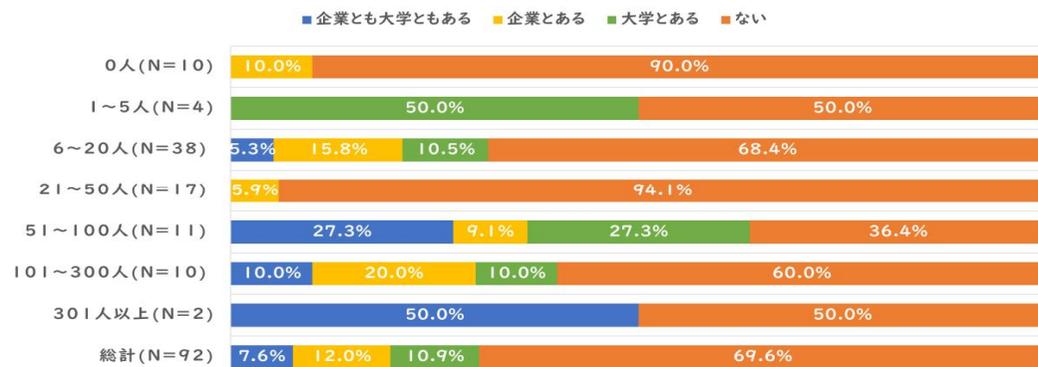


全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は72.7%であるが、学生数が「500人以下」「1,001～2,000人」「2,001～3,000人」の大学では100%である。

4 NPO会員数×過去3年の協力有無

NPO

5. 会員数 × 過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはあるか
【n=92】



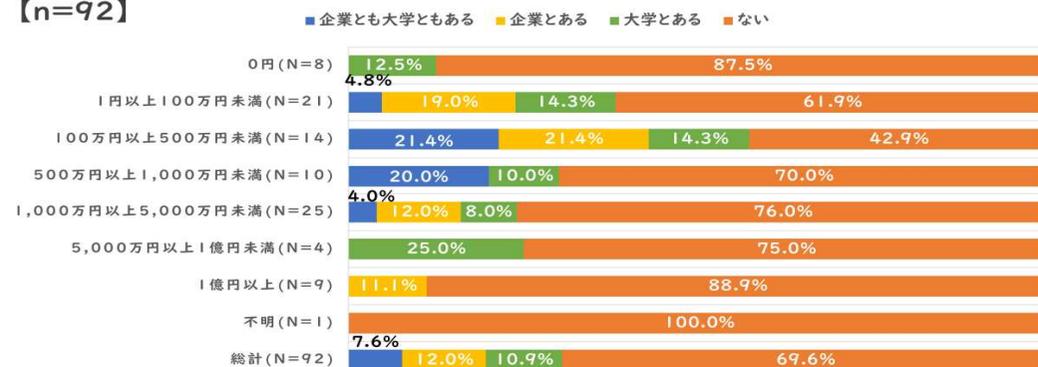
全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は30.4%であるが、会員数が「21~50人」では5.9%、0人では10.0%で割合が低い。会員数が「51~100人」では63.6%と割合が高い。

- 全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は30.4%であるが、会員数が「21~50人」では5.9%、0人では10.0%で割合が低い。
- 会員数が「51~100人」では協力の実績がある割合が63.6%と高い。

5 NPO昨年度の収入×過去3年の協力有無

NPO

1. 昨年度の収入の合計額 × 過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはあるか
【n=92】



全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は計30.4%であるが、収入が「0円」のNPOでは12.5%、「1億以上」のNPOでは11.1%で割合が低い。「100万円以上500万円未満」では57.1%と割合が高い。収入が多いNPOでは割合が低い傾向がみられる。

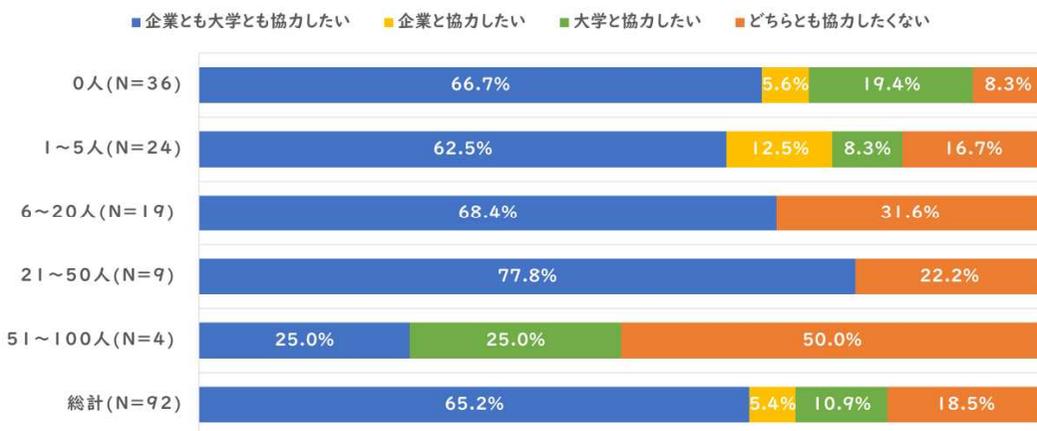
- 全体では、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことがある割合は計30.4%であるが、収入が「0円」のNPOでは12.5%、「1億以上」のNPOでは11.1%で割合が低い。
- 「100万円以上500万円未満」では協力の実績がある割合が57.1%と高い。
- 収入が多いNPOでは協力の実績がある割合が低い傾向がみられる。

6 有給職員数・従業員数・学生数×今後の協力希望有無

- NPOは、全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であるが、有給職員数が5人以下では、5人以上より割合が高い傾向がある。
 - 企業は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたい割合は71.4%であるが、従業員数が「301人以上」の企業では91.7%、「101人から300人」の企業では83.3%と割合が高い。従業員数が多いほど割合が高い傾向が見られる。
 - 大学は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、「500人以下」「1,001～2,000人」「2,001～3,000人」の大学では100%である。
- 企業は、従業員数が多い方が、今後協力したい割合が高い傾向がある。
- NPOは、有給職員数が5人以下の方が、今後協力したい割合が高い傾向がある。協力したい割合が一番高いのは、有給職員数が0人のNPOである。

NPO

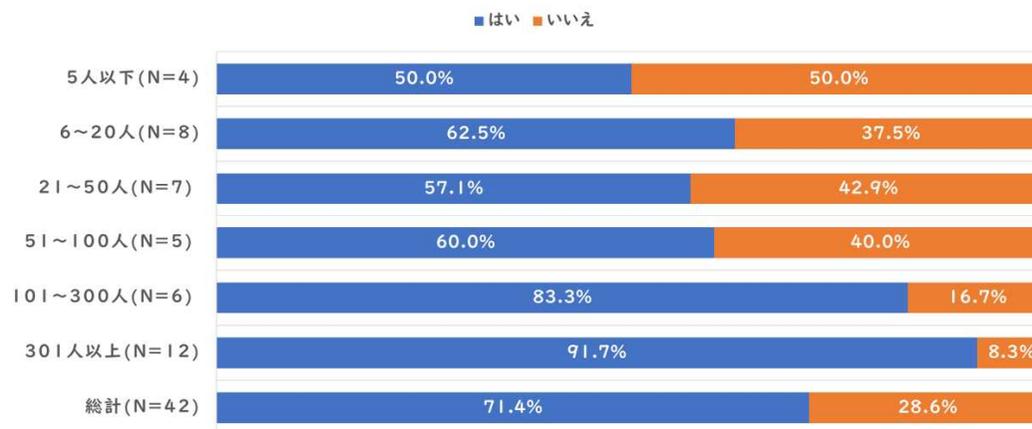
9.有給職員数 × 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたいか
【n=92】



全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であるが、有給職員数が5人以下では、5人以上より割合が高い傾向がある。

企業

8.従業員数 × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
【n=42】



全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたい割合は71.4%であるが、従業員数が「301人以上」の企業では91.7%、「101人から300人」の企業では83.3%と割合が高い。従業員数が多いほど割合が高い傾向が見られる。

大学

4. 学生数 × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
【n=11】

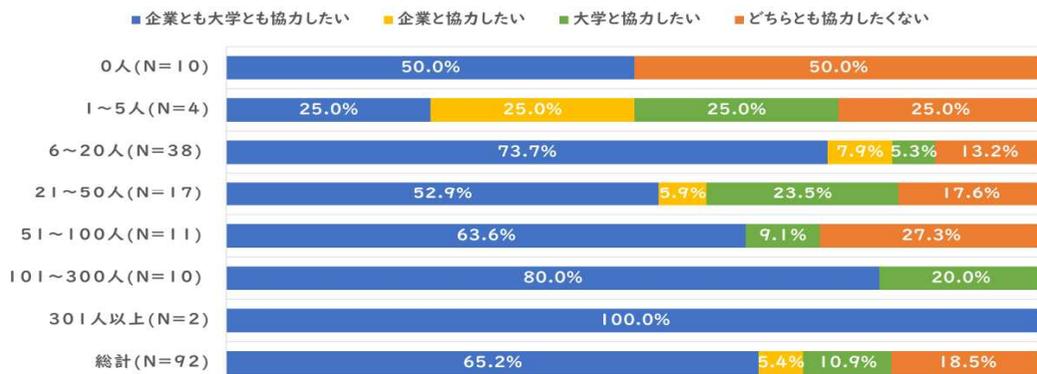


全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、「500人以下」「1,001～2,000人」「2,001～3,000人」の大学では100%である。

7 NPO会員数×今後の協力希望の有無

NPO

10. 会員数 × 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい 【n=92】



全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であり、全体に割合が高いが、会員数が0人では50%と割合が低い。

- 全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であり、全体に割合が高いが、会員数が0人では50%と割合が低い。

8 NPO昨年度の収入×今後の協力希望の有無

NPO

6. 昨年度の収入 × 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい 【n=92】



全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であるが、収入が1,000万円未満では、1,000万円以上より割合が高い傾向がある。

- 全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい割合は81.5%であるが、収入が1,000万円未満では、1,000万円以上より割合が高い傾向がある。

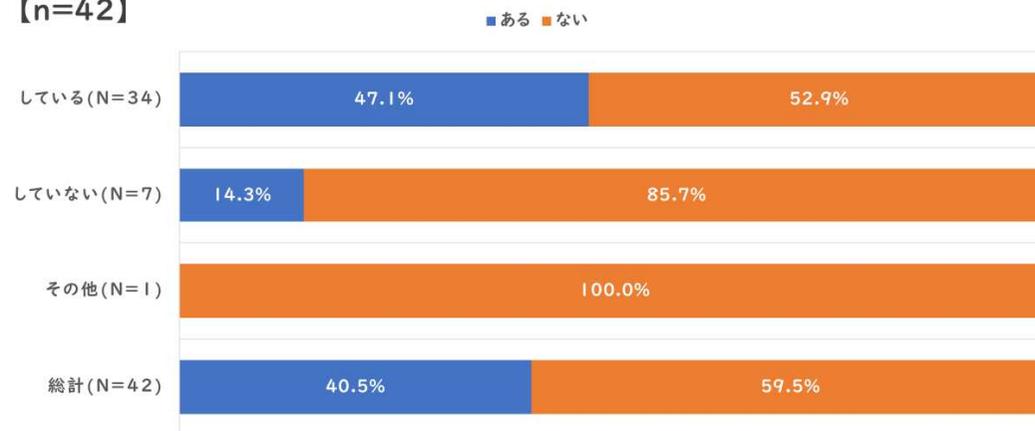
9 社会貢献活動の実施×過去3年の協力有無

- 企業は、全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は40.5%であるが、CSR・社会貢献活動を「実施していない」企業では14.7%で割合が低い。
- 大学は、全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているため、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は全体の割合と同じ72.7%である。
- CSR・社会貢献活動を実施している企業は、協力の実績がある割合が高い。

企業

9. CSR・社会貢献活動を実施しているか × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか

【n=42】

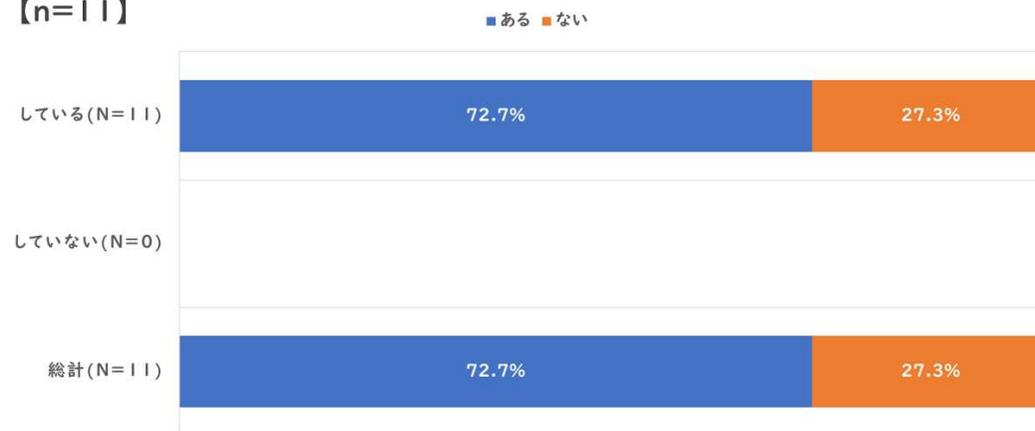


全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は40.5%であるが、CSR・社会貢献活動を「実施していない」企業では14.7%で割合が低い。

大学

5. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか

【n=11】



全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているため、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は全体の割合と同じ72.7%である。

10 社会貢献活動の実施×今後の協力希望有無

- 企業は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、CSR・社会貢献活動を「実施していない」企業では42.9%で割合が低い。
- 大学は、全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているので、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は全体の割合と同じ81.8%である。
- CSR・社会貢献活動を実施している企業は、今後協力したい割合が高い。

企業

10. CSR・社会貢献活動を実施しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=42】

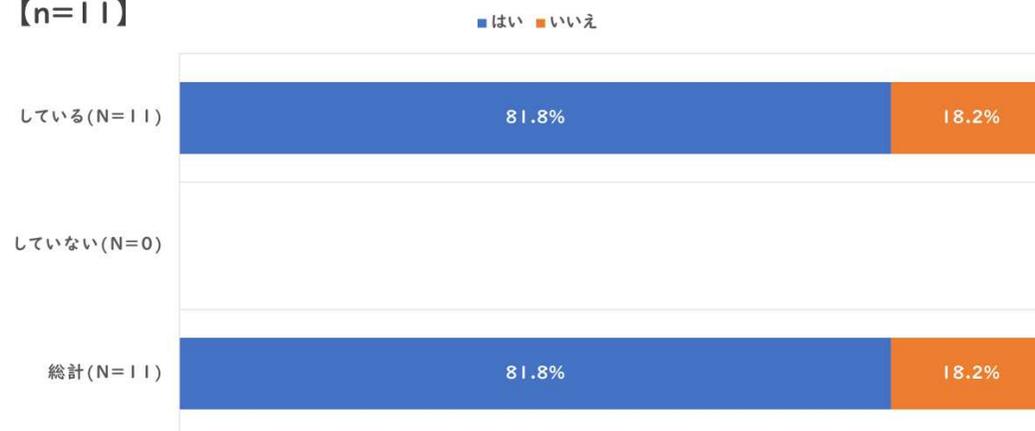


全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、CSR・社会貢献活動を「実施していない」企業では42.9%で割合が低い。

大学

6. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=11】



全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているので、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は全体の割合と同じ81.8%である。

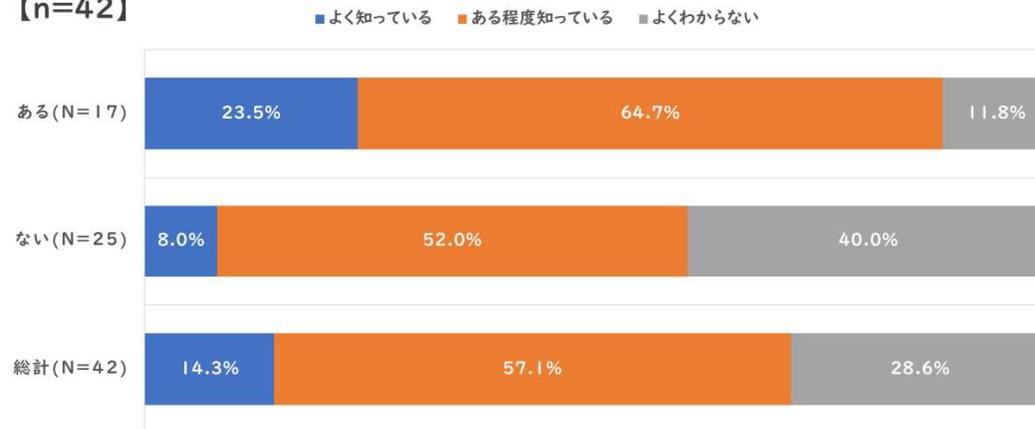
11 過去3年の協力有無×NPOへの認識

- 企業は、全体では、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」割合は14.3%、「ある程度知っている」は57.1%で、合わせて「知っている」が71.4%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では「よく知っている」が23.5%、「ある程度知っている」が64.7%で、合わせて「知っている」が88.2%で割合が高い。
 - 大学は、全体では、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」割合は18.2%、「ある程度知っている」は45.5%で、合わせて「知っている」が63.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では「よく知っている」が25.0%、「ある程度知っている」が50.0%で、合わせて「知っている」が75.0%で割合が高い。
- 協力の実績がない企業・大学は、NPOの活動分野や活動内容等が「よくわからない」と回答した割合が高い。

企業

11. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか

【n=42】

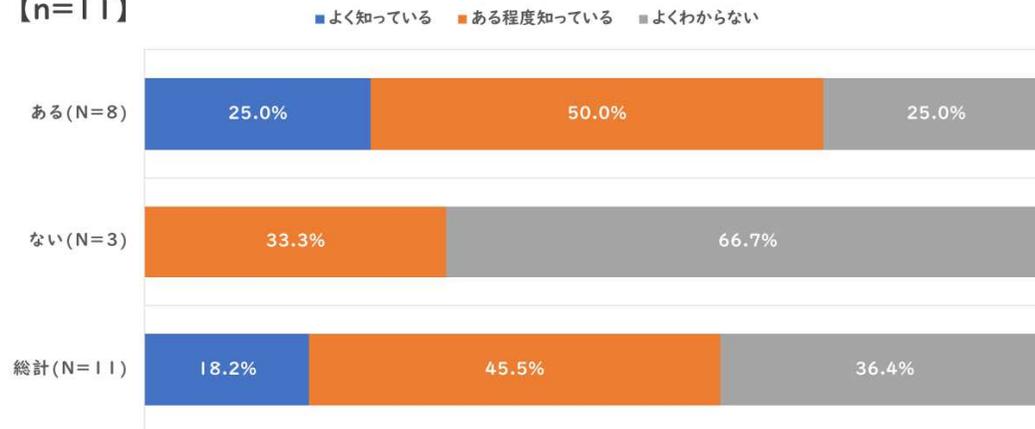


全体では、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」割合は14.3%、「ある程度知っている」は57.1%で、合わせて「知っている」が71.4%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では「よく知っている」が23.5%、「ある程度知っている」が64.7%で、合わせて「知っている」が88.2%で割合が高い。

大学

7. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか

【n=11】



全体では、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」割合は18.2%、「ある程度知っている」は45.5%で、合わせて「知っている」が63.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では「よく知っている」が25.0%、「ある程度知っている」が50.0%で、合わせて「知っている」が75.0%で割合が高い。

12 NPOへの認識×今後の協力希望有無

- 企業は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」企業では83.3%と割合が高い。
- 大学は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」大学では100%である。
- NPOの活動分野や活動内容等について「知っている」企業・大学は、今後協力したいと回答した割合が高い。

企業

12.NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=42】

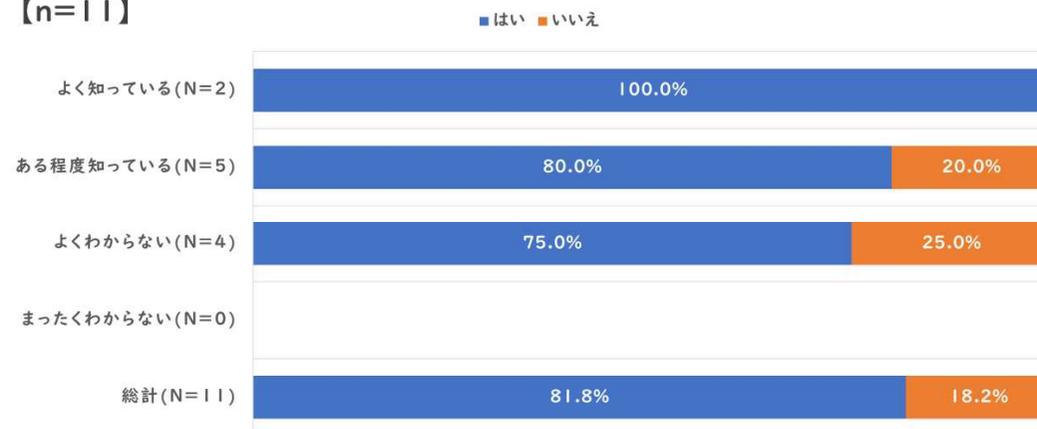


企業は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」企業では83.3%と割合が高い。

大学

8. NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=11】



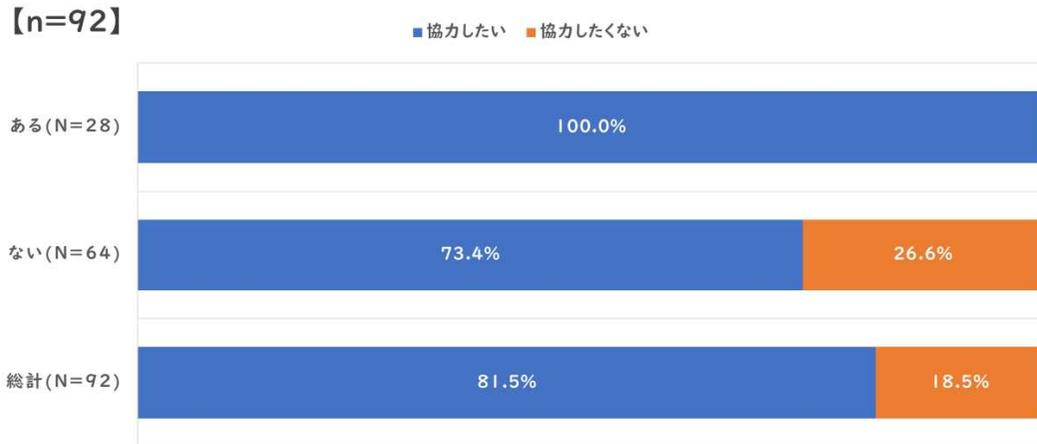
全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」大学では100%である。

13 過去3年の協力有無×今後の協力希望有無

- NPOは、全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを「行いたい」割合は81.5%であるが、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことが「ある」NPOでは100%である。
- 企業は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では88.2%と割合が高い。
- 大学は、全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では100%である。
- 協力の実績があるNPO・大学は、その全てが今後協力したいと回答しているが、協力の実績がある企業は、17%が協力したくないと回答した。
- NPO・企業は、協力の実績がなくても、今後協力したいと回答した割合が高い。

NPO

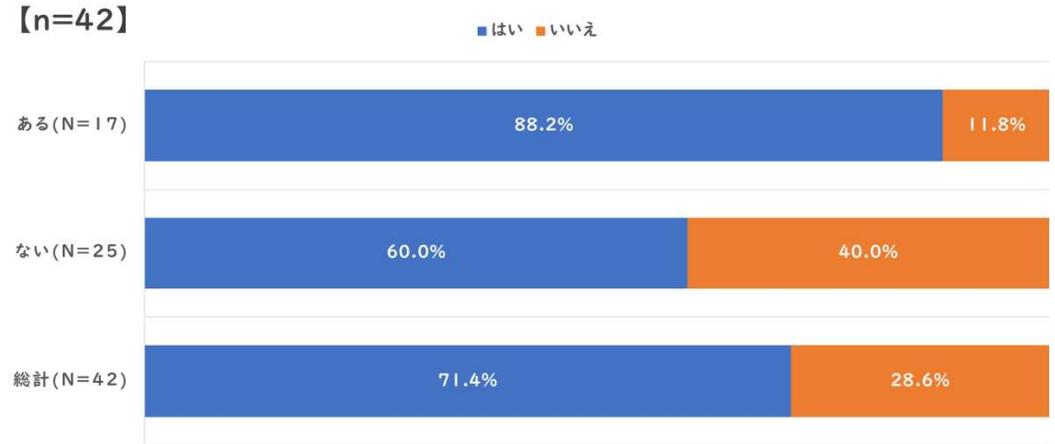
11. 過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはあるか × 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたい



全体では、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを「行いたい」割合は81.5%であるが、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことが「ある」NPOでは100%である。過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことは「ない」NPOでは「協力したくない」が26.6%である。

企業

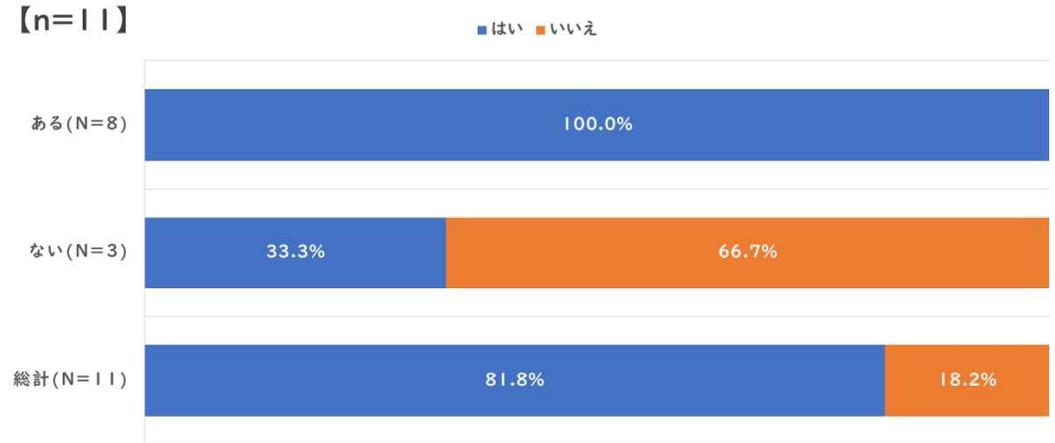
13. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか



全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は71.4%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では88.2%と割合が高い。

大学

9. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか



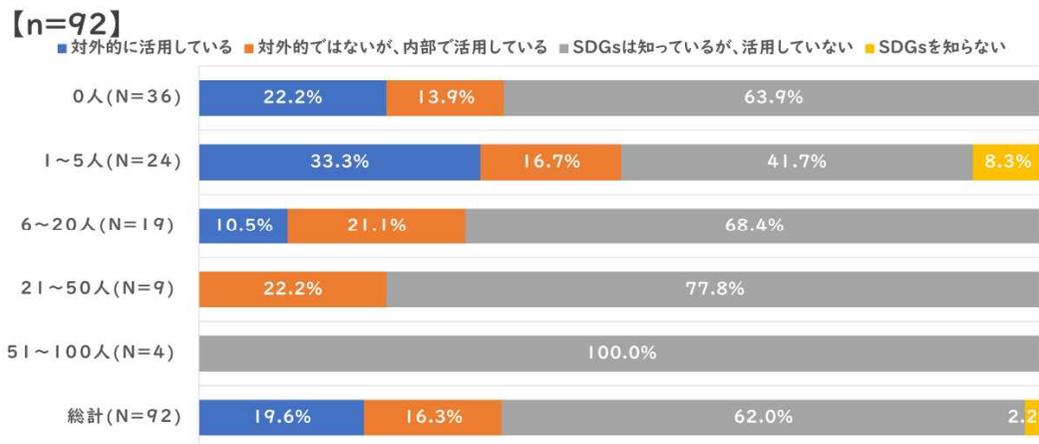
全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では100%である。

14 有給職員数・従業員数・学生数×SDGsの活用

- NPOは、全体では、団体の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は19.6%であるが、有給職員数が「1～5人」のNPOでは33.3%、「0人」のNPOでは22.2%である。
- 企業は、全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、従業員が「301人以上」の企業では100%である。
- 大学は、学生数の多少による傾向の違いは分からない。
- NPOは、有給職員数が5人以下のNPOで、SDGsを活用している割合が高い。
- 企業は、従業員数が多い方が、SDGsを活用している割合が高い。

NPO

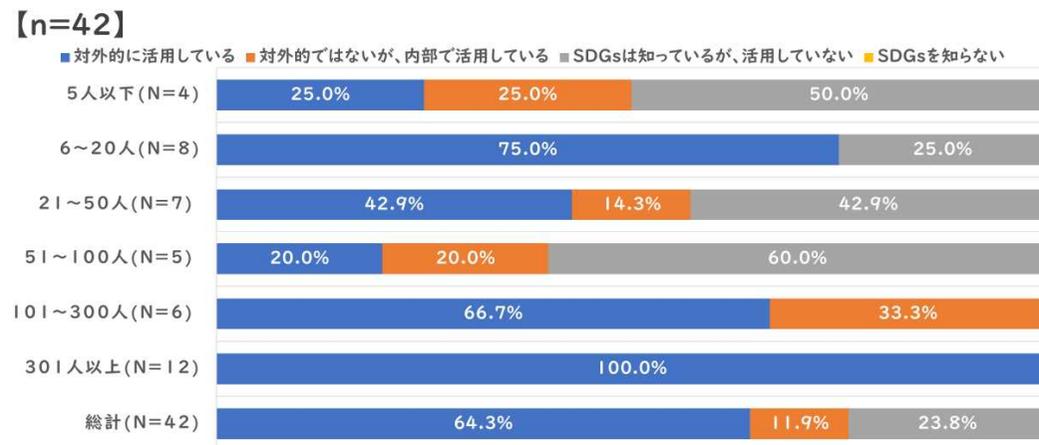
12. 有給職員数 × 団体のミッションとSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか



全体では、団体の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は19.6%であるが、有給職員数が「1～5人」のNPOでは33.3%、「0人」のNPOでは22.2%であり、有給職員数が5人以下のNPOでは割合が高い。

企業

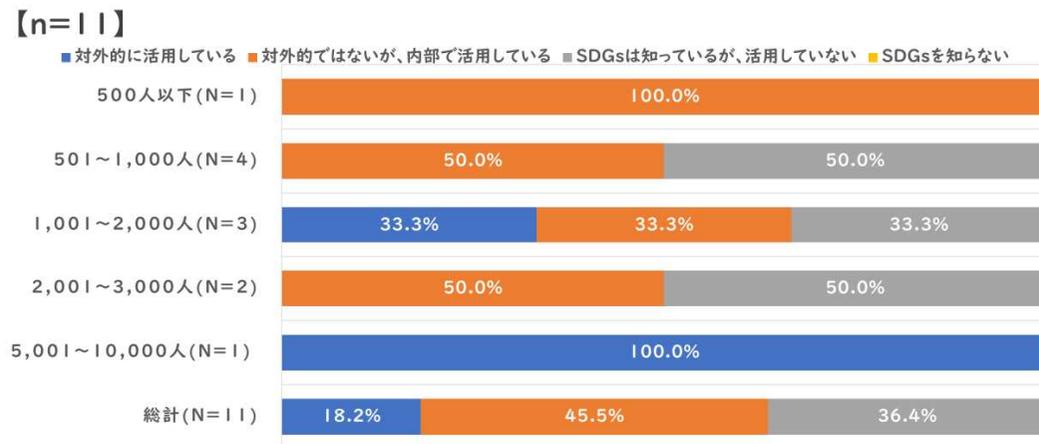
15. 従業員数 × 貴社の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか



全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、従業員が「301人以上」の企業では100%である。

大学

10. 学生数 × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか



学生数の多少による傾向の違いは分からない。

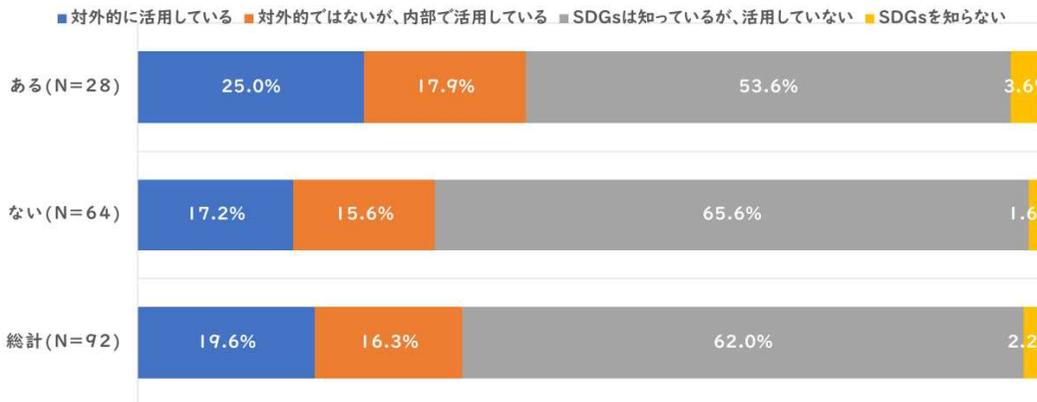
15 過去3年の協力有無×SDGsの活用の有無

- NPOは、全体では、団体のミッションとSDGsを関連づけて「対外的に活用している」割合は19.6%であるが、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことが「ある」NPOでは25.0%で割合が高い。
 - 企業は、全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では82.4%であり割合が高い。
 - 大学は、全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では12.5%である。
- 協力の実績がある企業は、SDGsを活用している割合が高い。

NPO

13. 過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことはあるか × 団体のミッションとSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=92】

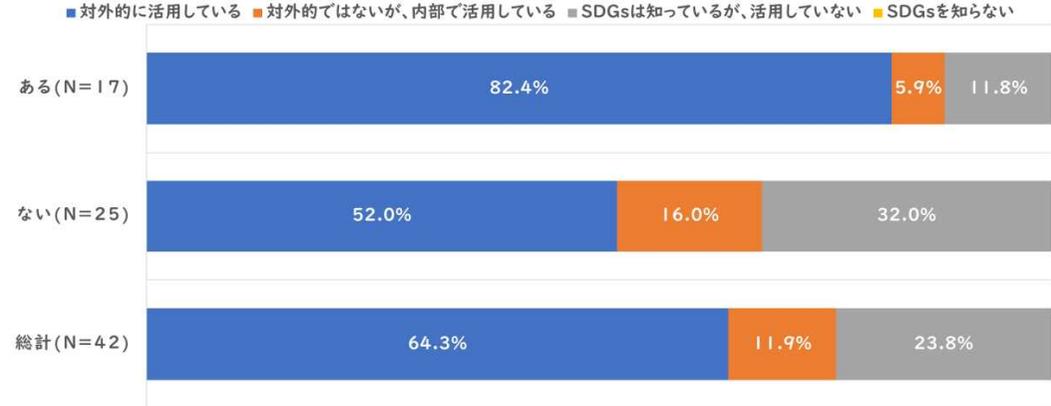


全体では、団体のミッションとSDGsを関連づけて「対外的に活用している」割合は19.6%であるが、過去3年間に企業や大学と協力して取り組んだことが「ある」NPOでは25.0%で割合が高い。

企業

16. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 貴社の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=42】

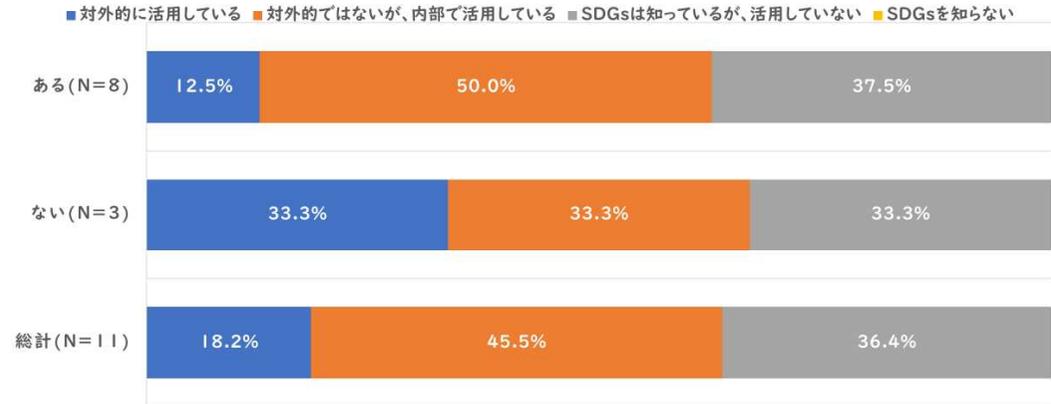


全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」企業では82.4%であり割合が高い。

大学

11. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=11】



全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では12.5%である。

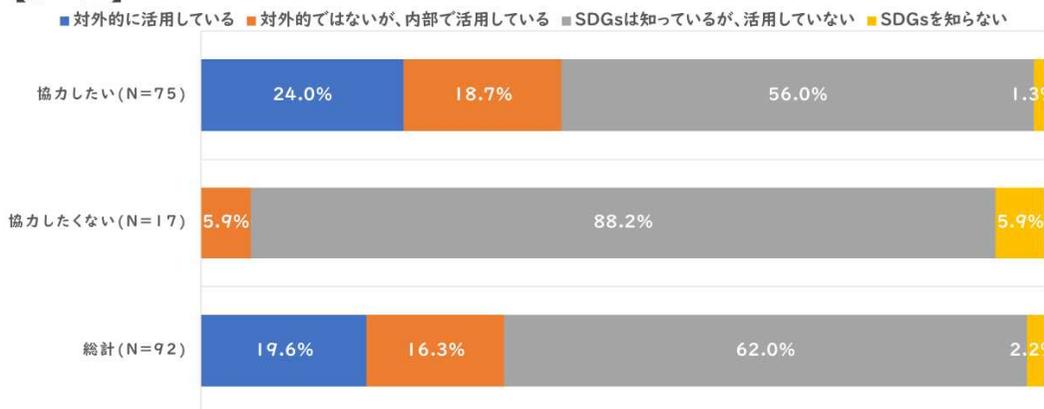
16 今後の協力希望有無×SDGsの活用の有無

- NPOは、全体では、団体のミッションとSDGsを関連づけて「対外的に活用している」割合は19.6%であるが、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたいNPOでは24.0%と割合が高い。
 - 企業は、全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」企業では70.0%であり割合が高い。
 - 大学は、全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」大学では11.1%である。
- 今後協力したいNPO・企業は、SDGsを活用している割合が高い。

NPO

14. 今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたいか × 団体のミッションとSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=92】



全体では、団体のミッションとSDGsを関連づけて「対外的に活用している」割合は19.6%であるが、今後、条件が整えば、企業・大学と協力した取り組みを行いたいNPOでは24.0%と割合が高い。

企業

17. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか × 貴社の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=42】

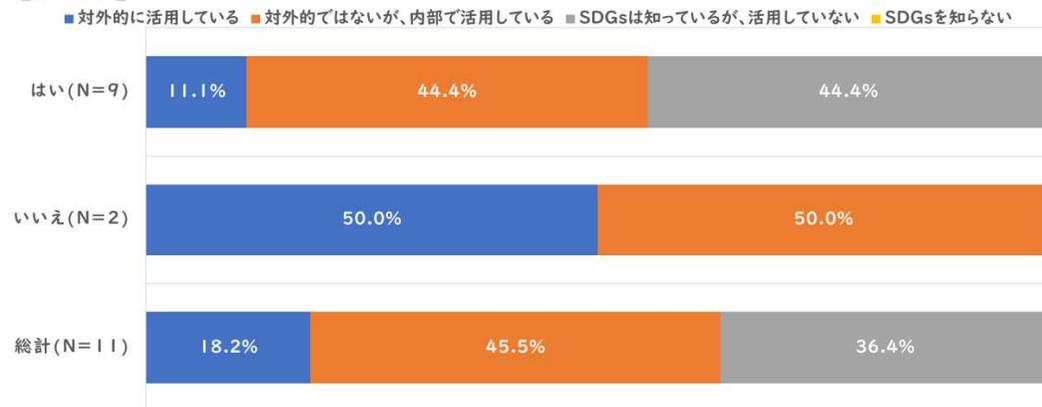


全体では、企業の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は64.3%であるが、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」企業では70.0%であり割合が高い。

大学

12. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=11】



全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」大学では11.1%である。